

2023年度 事業報告

2023年4月1日～2024年3月31日

<Vision>

「広告業界の未来のために、JAAAは広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる」

3年を超えるコロナ禍、広告業界はもちろんのこと、社会生活全般にわたり、「withコロナ」を前提に、デジタル化の一層の加速をはじめ、多様なビジネスモデル・働き方への改革が進みだしています。一方で、長引く国際紛争や高まる地政学的リスク、エネルギー・原材料コスト高騰からの物価高や不安定な国際金融の影響が、私たち生活者の不安・不満を増大させていることも現実であり、複雑に絡み合う環境下での社会経済活動の回復に向け、広告業界に期待され果たさねばならない社会的な責任と使命は非常に大きく重いものと考えています。

昨年来遺憾にも社会問題化した広告及び広告業界への不信を払拭し、信頼に基づいた「広告の価値と魅力」を創造し向上させる基本方針をこの1年徹底していく所存です。

<Action Plan>

1. 広告業界・広告会社の価値と魅力を向上させ、広告への信頼をより高めるための諸課題への対応強化

生活者や広告主・取引先から、広告の社会的意義・役割をあらためて再認識・評価してもらうため、コンプライアンスの徹底はもちろんのこと、多様性が求められる広告業務の本質的な理解促進や変化し拡張する新しい広告ビジネスモデルへの留意点・課題共有を進め、広告業界としての取り組み姿勢・活動の発信を強化していく。

2. 広告ビジネスの革新と領域拡張を加速させることによる広告の価値と魅力の創造

DXはあらゆる広告ビジネスに影響を与え、従来のビジネスモデルも大きく変容しつつあり、広告そのものの定義・領域も拡張している。ビジネスとして広告を業とする私たち広告業界は、新たなルールや指針策定共有に積極的に取り組み、常に広告が信頼され安心されるものにする義務を負っている。

事業委員会での活発な議論・意見交換を通して、広告関係他団体とも連携しながら、広告ビジネスの革新と領域拡張に取り組んでいく。

3. 多様な人材の発掘・育成・成長のための環境整備

広告業界が持続的に発展を続けるためには、多様な人材によるイノベーションとクリエイティビティの発揮は欠かせない。そのためにも、次世代を担う多様な若手人材の確保・成長機会の提供を継続的に行うと同時に、会員社の社員間の意見交流の場を設けるなど、JAAAとして広告業界で働くことの魅力を伝える環境整備を行っていく。DE&I・SDGs等への取り組みをいっそう強化し、働き方・働く場そして事業活動として提供する様々なソリューションの価値と魅力の向上に繋げる。

また、マネジメント委員会傘下の各事業委員会を中心に、広告関係他団体とも連携し、大学・就職関連メディアの協力を得て、会員社の若手社員のメッセージ・実像などの情報発信を行っていく。

日本国内には、数千の広告会社があると言われています。JAAAは149の会員社の協力をいただき、300名を超える委員中心に日々活動を行っておりますが、会員社のみならず日本国内の多くの広告会社が持続的に活躍し広告業界の健全な発展に寄与する大きな責任があるものと自覚しております。

私どもJAAAは、「広告業界・広告会社」の「価値と魅力」を創造・向上させる活動と「広告」そのものの「価値と魅力」を創造・向上させる活動の双方を複合的に追及し、情報共有・発信を行ってまいります。

これらの活動において、広告関係団体や各委員会、官公庁などと連携し協働することやDXをベースとした多様化・複雑化する広告課題に統合的に取り組むこと、すなわち、これまで掲げていたアクションプランの「協働スキームによる連携」や「デジタル対応強化」は、JAAAのすべての活動のベース・前提となってまいります。

新しい広告領域への拡張・革新や業務プロセスの改善・効率化などが創り出す広告のこれから・未来は、必ずや「広告の価値と魅力の創造・向上」となり、結果として、多様な人材を惹きつけ、広告への信頼回復・向上に結び付くものと確信しています。

<2023年度 事業報告>

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1. 2023年度を振り返って

2023年は、4年にわたるコロナ禍での制約・閉塞から解放され、移動・集会・コミュニケーションが自由に出来ることのありがたさをあらためて実感すると同時に、リモートワークやオンラインでの業務が一定程度定着したことや、生成AIなど新しいテクノロジーのインパクトが私たち広告業界にもたらした様々な拡張・創造要因などから、次の成長に向けた変革に大きく一歩を踏み出した1年でした。

政治・経済・社会の国際情勢の緊張・不安定状態は終息が見えにくく、国内物価高騰も重なり、生活者はもちろん広告主はじめ私たち広告会社にとっても、必ずしも成長・発展を体感しにくい状況が続いています。

2023年の日本の広告費が過去最高を更新したり、日経平均株価もバブル期を上回り史上最高を記録するなど、マクロ経済の成長は大変良い兆候ですが、周辺・隣接業界を含む私たち広告業界に対する社会からの厳しい視線や不信感の払しょくは急務と認識しています。コンプライアンスの徹底・ガバナンス強化は当然のこと、広告業界として果たすべき社会課題への積極的な対応とその発信を、さらに加速してまいります。

2. 業務執行報告

(1) 2023年度定時総会

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、それまでの2類感染症から、2023年5月8日より5類感染症に移行し、経済社会等日常の生活活動において一律に基本感染症対策をとる必要がなくなったため、コロナ禍以前の対応に戻し、東京會館にて下記の通り開催した。会員代表者の出席者61社、委任状の提出が72社、合計133社で、会員総数151社の過半数を超え、定款第17条及び第18条により本総会は有効に成立した。なお、第3号議案「定款」一部改定承認の件については、定款の改定は総会での議決と定められており、その議決は総会出席者の3分の2以上と定められていることから、書面での委任状72、会場での議決権保有者17以上の賛成の挙手を求め、3分の2以上であることを確認した。

定款により五十嵐理事長を議長に選任し、議事録署名人としてフロンテッジの高瀬竜一郎理事、博報堂DYメディアパートナーズの矢嶋弘毅理事を選任した。

1) 日 時 2023年5月31日(水) 13時30分～14時

2) 会 場 東京會館・3階 ローズ

3) 議 事

[報告事項]

1. 2022年度事業報告の件

2. 「広告人行動指針」改定報告の件

3. 2023年度事業計画並びに収支計画の件

[決議事項]

- 第1号議案 2022年度決算報告承認の件
- 第2号議案 2023・2024年度役員選任の件
- 第3号議案 「定款」一部改定承認の件

(2) 理事会

業務執行理事である理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況は以下の通り。

(理事長：五十嵐 博)

<2023年4月1日～2023年5月31日>

■五十嵐理事長、戸田副理事長、落合副理事長、橋爪専務理事、池田常務理事

4月21日 第333回理事会の開催

1. 2022年事業報告・決算報告承認の件
2. 2023・2024年度役員候補者承認の件
3. 専務理事・常務理事候補者承認の件
4. 定款一部改定承認の件
5. 広告人行動指針改定承認の件
6. 2023年度定時総会招集通知案承認の件
7. 利益相反取引報告承認の件

<2023年5月31日～2024年3月31日>

■五十嵐理事長、戸田副理事長、大山副理事長、泉副理事長、橋爪専務理事、池田常務理事

5月31日 第334回理事会の開催

1. 2023・2024年度業務執行理事選定の件
2. 会長・相談役の推薦の件

7月20日 第335回理事会の書面決議

1. 入会申請承認の件
2. 利益相反取引報告承認の件

10月26日 第336回理事会の開催

1. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞規約改定承認の件
2. 2023年度上期事業報告及び収支決算報告承認の件
3. 利益相反取引報告承認の件

1月29日 第337回理事会の開催

1. 利益相反取引報告承認の件

3月25日 第338回理事会の開催

1. 2024年度事業計画案・収支予算案承認の件
2. 日本広告業協会事務局移転に伴う費用の件
3. 第59回吉田秀雄記念賞受賞者承認の件
4. 第53回懸賞論文入賞・入選者承認の件
5. 2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者承認の件
6. 第11回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞承認の件
7. 入会申請承認の件

8. 2024年度定時総会開催承認の件

9. 利益相反取引報告承認の件

■ 橋爪専務理事、池田常務理事

・ 協会運営等を推進

・ **正副理事長会議**

3月25日 業務執行体制等について

・ **運営委員会（委員長：戸田裕一）**

4月21日 第333回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

第334回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

7月13日 第335回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

10月19日 第336回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

1月22日 第337回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

3月18日 第338回の提出議案について検討、理事会への上程を承認した。

・ **財務委員会（委員長：曾我有信）**

4月13日 2022年度決算報告について書面決議を行った。

3月 6日 2024年度収支予算案について書面決議を行った。

・ **入会資格審査委員会（委員長：大塚尚司）**

7月10日 株式会社M&C Saatchi、株式会社SIGNINGの入会申請について書面決議を行った。

3月 5日 株式会社チョコレートの入会申請について書面決議を行った。

・ **吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：桑原常泰）**

2月 5日 第59回吉田秀雄記念賞の候補者について検討を行った。

3月 8日 第59回吉田秀雄記念賞の選考を書面にて行った。

・ **役員選挙管理委員会（委員長：丹羽信一）**

4月11日 2023・2024年度役員候補者推薦の開票を行い、第334回理事会に諮ることとした。

(3) 監査・検査

4月10日 会計検査 2022年度決算に関して監事会社の経理担当者による会計検査を書面で行った。

4月10日 監査 2022年度決算並びに業務の執行状況について、監事による監査を書面で行った。

10月11日 会計検査 2023年度上期決算に関して監事会社の経理担当者による会計検査を書面で行った。

10月11日 監査 2023年度上期決算並びに業務の執行状況について、監事による監査を書面で行った。

◆理事・監事の辞任

◇理事

2023年 6月 1日付

森 浩昭 株式会社 マッキンゼーエリクソン

2023年 8月30日付

巴 一寿 株式会社 第一通信社

2024年12月31日付

樽谷 典洋 株式会社 電通

2024年 3月27日付

遠藤 弘暢 株式会社 電通アドギア

◇監事

2024年 3月26日付

今井 明彦 株式会社 TBWA\HAKUHODO

3. 各委員会報告

◆ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋 治 委員長：松本千里）

10月 5日、3月 5日

1. 委員の交替

鹿野 和夫（I&S BBDO）⇒ 高澤 正行（同社）

岩淵 美彦（朝日広告社）⇒ 神戸 久（同社）

楠山 昌生（大広）⇒ 福井淳一郎（同社）

佐野 傑（電通）⇒ 松本 千里（同社）

高坂 俊之（東急エージェンシー）⇒ 前田 暢彦（同社）

2. 委員長の交替

松本 千里（電通）

3. 2023年度各委員会報告

経理委員会、情報システム委員会、法務委員会、制作取引委員会、営業委員会、著作権委員会、広告の機能と役割研究委員会、CSR委員会、広告問題研究委員会より上半期の活動報告を10月5日に、下半期（年度）の活動報告を3月5日に受けた。

・経理委員会（委員長：長森秀樹）

11月28日

1. 委員の交替

鹿野 和夫 (I&S BBDO) ⇒ 平山 工 (同社)
佐藤 等 (東急エージェンシー) ⇒ 中村 公隆 (同社)
清遠 雅章 (マッキンゼーエリクソン) ⇒ 寺岡 洋一 (同社)

2. 副委員長の退任

鹿野 和夫 (I&S BBDO)

3. 下請法ガイドブック改訂版の発行

委員会で発行している「広告会社のための下請法ガイドブック」について、関連する通達や運用基準の改正内容を反映した改訂版を8年ぶりに発行した。

判 型 A4判 105頁

発行日 2024年 1月15日

印刷部数 2,500部

販売価格 会員/団体 1,650円 一般 2,200円

<主な改訂内容>

- ・各種法令や通達内容の反映
 - ◇下請取引における電磁的記録の提供に関する留意事項の改正 (2019年 5月)
 - ◇下請法運用基準改正 (2022年 1月)
 - ◇手形等に関する通達の要請 (2022年 2月) 等
- ・インデックス追加

<JAAA会員社への周知>

- ・改訂版発行案内、JAAAウェブサイトへの掲載
- ・改訂版発行にあたり説明会を実施 (3月18日)

<発行後>

- ・日本アドバイザーズ協会への説明・協力依頼 (1月22日)
- ・経済産業省等へ共有

4. 下請法ガイドブック改訂版 説明会の実施

下請法ガイドブック改訂版発行に伴い、今回の改訂の主なポイント、下請法違反防止の取組事例の共有等、実務に即した内容を中心とした説明会を実施した。

日 時 2024年 3月18日 (月) 16時~16時45分

形 式 オンライン (Zoom)

内 容 ① 「広告会社のための下請法ガイドブック」改訂版のポイント
② 下請法関連の取組事例紹介
③ 質疑応答

講 師 長森 秀樹 (電通コーポレートワン/経理委員会委員長)

森 健 (大広/経理委員会委員)

中村 公隆 (東急エージェンシー/経理委員会委員)

参加費 無料 * JAAA会員社対象

参加者 141名

5. 官公庁からのアンケート等への協力

下記2件のアンケート等について、会員社への周知協力依頼を行った。

①経済産業省「令和5年度 転嫁円滑化施策パッケージに基づく法遵守状況の自主点検」

回答期間 2023年10月25日(水)～11月 7日(火)

回答社数 65社

②中小企業庁「自主行動計画のフォローアップ指針における調査事項」

回答期間 2023年11月13日(月)～12月 4日(月)

回答社数 23社

・情報システム委員会（委員長：奥村卓也）

6月30日、10月10日、10月23日、12月19日

1. 委員の交替

上原 達也（ADKホールディングス）⇒ 岡嶋 大介（同社）⇒ 内山 大輔（同社）

黒木 昭一（ジェイアール東日本企画）⇒ 向山 真人（同社）

葉山 晃司（東急エージェンシー）⇒ 加藤 直樹（同社）

2. 委員各社の情報交換

「情報システムアンケート」の検討…定点観測として実施している「情報システムアンケート」の2023年度の項目について検討を行い、アンケート項目を決定した。今年度は、通常の定点観測として実施している項目の一部整理・修正に加え、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類になったことを受けての、出勤率やリモートワーク施策について、また生成AI（ChatGPT）についての項目を追加した。委員各社に回答の依頼を行い、各社の回答を委員会で共有、結果を会報2月号にて報告した。

3. ワーキンググループについて

情報システムアンケートの項目の中から、より深いレベルでの情報共有を実現するべく、テーマ領域を絞り込んだ下記ワーキンググループを設置している。今期の活動はないが、情報共有のため必要に応じて活動を行っていく。

①Office365 ワーキンググループ

②情報セキュリティ ワーキンググループ

③BCP ワーキンググループ

・法務委員会（委員長：長谷川雅典）

9月29日

1. 委員の交替

加藤 博文（朝日広告社）⇒ 小野寺尚子（同社）

清水 秀哉（ジェイアール東日本企画）⇒ 前田 卓哉（同社）

2. JARO広告研究セミナー（オンライン）の実施協力

主 催 日本広告審査機構、日本アドバイザーズ協会、日本アド・コンテンツ制作協会、日本広告制作協会、日本インタラクティブ広告協会、日本広告業協会、大阪広告協会、大阪アドバイジングエージェンシーズ協会

<1回目> 7月12日 広告法務セミナー I：「2022年度JAROの広告審査と事例」

講 師 吉田 巖（JARO 審査部課長）

参加者 1,865名

参加費 無料

<2回目> 8月4日 広告法務セミナーⅡ：「景品表示法の運用状況と違反事例」

講師 藤原 衣補（消費者庁 表示対策課課長補佐）

参加者 491名

参加費 4,000円

3. 広告表現における知的財産権等の侵害リスクチェックについて

広告の制作に伴う著作権や商標権等の侵害のリスクチェック業務について、各社の対応を情報交換した。

4. 「広告会社のための下請法ガイドブック」について

2024年1月に発行した「広告会社のための下請法ガイドブック」の改訂にあたり、法務委員会より長谷川委員長が携わった。

・制作取引委員会（委員長：沼澤 忍）

4月25日

1. 委員の交替

根岸 正樹（大広）⇒ 福田 悦子（同社）

2. 字幕付きCM普及推進協議会への協力

2023年6月21日の協議会、および9月11日の「字幕付きCM素材の制作・搬入に関する意見交換会」、2024年3月3日の岡山市難聴者協会主催「耳の健康事業」に沼澤委員長が参加、周知および意見交換等を行った。

3. 「広告制作受発注ガイドライン」確認書運用、並びにテープ原版廃棄について

①現状把握に関するアンケート調査について（※営業委員会と合同）

アンケート実施期間 2023年3月29日（水）～4月14日（金）

アンケート対象・回答社 制作取引委員会・営業委員会の委員会社（回答12社）

②確認書フォーマットの改定案の検討

日本アド・コンテンツ制作協会（JAC）、日本広告制作協会（OAC）、JAAAの3団体で検討を開始した。

・営業委員会（委員長：降旗 淳）

4月25日

1. 委員の交替

天羽 太郎（読売広告社）⇒ 高田 周平（同社）

2. 「広告制作受発注ガイドライン」確認書運用、並びにテープ原版廃棄について

①現状把握に関するアンケート調査について（※制作取引委員会と合同）

アンケート実施期間 2023年3月29日（水）～4月14日（金）

アンケート対象・回答社 制作取引委員会・営業委員会の委員会社（回答12社）

確認書の取り交わしは働き方の改善や取引適正化にある程度は効果があるという認識を確認した。確認書のフォーマットの見直し等、適宜制作取引委員会と連携していく。また、ソニーの

業務用ハーフィンチVTRとハーフィンチカムコーダーの保守サービスが終了したが、廃棄について特別公式な取り決めはないため、今後は広告主の確認を得ながら廃棄する方向で個社対応が求められていくという認識を共有した。

・著作権委員会（委員長：渡部秀人）

7月3日、8月21日

1. 委員の交替

森村 芳永（博報堂）⇒ 東條 公彰（同社）

2. 日本アドバイザーズ協会「広告宣伝担当は押さえない：広告制作に関する基礎法規セミナー」
講師派遣

<第1回> 9月14日「著作権」

講師 渡部 秀人（電通／著作権委員会委員長）

<第2回> 9月27日「表示」

講師 星 知矩（電通）

<第3回> 10月11日「肖像権・プライバシー権・パブリシティ権」

講師 寺林 憲宏（大広／著作権委員会委員）

<第4回> 10月26日「商標」

講師 東條 公彰（博報堂／著作権委員会委員）

桐山 大（弁理士／野本・桐山国際特許事務所所長）

<第5回> 11月9日「広告表現」

講師 山本 京輔（博報堂／著作権委員会委員）

長谷部守彦（博報堂）

形式 オンライン（Zoom）

参加者合計 523名

3. 「ステマ規制とWOMJガイドライン」セミナー実施

テーマ 「～景表法の「ステマ規制」まであと6日！ 知らなかったでは許されない。ステマの
新常識、徹底解説90分～」

日時 2023年9月25日（月）15時～16時30分

形式 オンライン（Zoom）

講師 山本 京輔（博報堂／著作権委員会委員）

参加費 無料（会員社限定）

参加者 190名

・広告の機能と役割研究委員会（委員長：河原大助）

7月12日、8月9日、9月15日、10月20日、11月10日、12月1日、1月18日、2月13日

1. 委員の交替

羽田 康祐（朝日広告社）⇒ 平川 慶一（同社）

指出 健次（大広）⇒ 片倉 淳子（同社）

2. 委員長・副委員長の交替

委員長 河原 大助（東急エージェンシー）

副委員長 神田 貴志（日本経済社）

3. 2023年度活動について

2022年度、広告の機能と役割研究委員会では、広告会社社員を対象に、広告業界を取り巻く環境が激変する今、広告会社の社員たちは「広告」「広告会社」をどう見ているのか意識調査を実施した。その調査から浮かび上がった、広告業界の未来の可能性を担う「クリエイティビティ」に対する理解、解像度を高めるために第2回目のアンケートを行うこととなり対象やアンケートの内容について議論を重ね、2024年度に実施予定。

・CSR委員会（委員長：宮坂隆行）

9月8日、12月26日

1. 委員の交替

河竹 正彦（読売広告社）⇒ 大瀧 祐哉（同社）

2. SDGsポスター募集事業について

SDGsをテーマとしたポスター事業を、下記の通り実施した。

目的 応募をきっかけに CSR テーマについて考えてもらう

募集期間 10月1日（日）～11月30日（木）

テーマ SDGs

「浸透してきたSDGsをさらに深化させ、アクションを促すために広告・広告人ができることとは？」

「目標である2030年までにSDGs達成に向け、広告・広告人ができることとは？」

応募総数 8社 28名 23点（昨年実績 11社 35名 28点）

賞・副賞 最優秀賞 1点 優秀賞 4点を選出（*副賞 最優秀賞 10万円、優秀賞 3万円）

最優秀賞 「後半戦、はじまる。」

荒木 竜郎、佐藤 寛子、向井 俊介、高田倫太郎（日本経済広告社）

優秀賞 「いつもの仕事に、SDGsをブレンドしよう。」

丸原 孝紀、扇 玲香、対馬自由莉（東急エージェンシー）

優秀賞 「100年後も、ありがとうって言われる広告を。」

丸原 孝紀、山本江美奈、古林 萌実（東急エージェンシー）

優秀賞 「できたことにも、目を向けよう。」

荒木 竜郎、佐藤 寛子、向井 俊介、高田倫太郎（日本経済広告社）

優秀賞 「オリエンに中年の男性と女性がやってきた。どうして男性を、上司だと思ったのだろう。」

青山 紀恵、中村 嘉敬（フロンテッジ）

・広告問題研究委員会（委員長：北原利行）

1. 「『2022年 日本の広告費』からみる現状とこれから」セミナーの実施

日時 2023年4月18日（木）14時～15時

形式 オンライン（Zoom）

講師 北原 利行（電通／広告問題研究委員会委員長）
参加費 無料（会員社、各地区広告業協会会員社対象）
参加者 318名

◆メディア委員会（担当理事：矢嶋弘毅 委員長：永井聖士）

10月 2日、2月 5日

1. 委員の交替

齋藤 幸蔵（マッキンゼーエリクソン）⇒ 瀬戸 宏明（同社）

2. 日本民間放送連盟（民放連）「2023年日本民間放送連盟賞グランプリ審査員」推薦

日本民間放送連盟よりグランプリ審査員の推薦依頼を受け、メディア委員会委員より2名を推薦した。

テレビ審査委員 田中 智顕（朝日広告社）

ラジオ審査委員 望月 謙司（ADKマーケティング・ソリューションズ）

3. 2023年度各委員会報告

テレビ委員会、ラジオ委員会、新聞委員会、雑誌委員会、交通広告委員会、インターネット広告委員会、メディア調査研究委員会、メディア業務改善委員会、CM素材オンライン運用推進プロジェクト、OOH新共通指標策定プロジェクトより、上期の活動報告を10月2日に、下期（年度）の活動報告を2月5日に受けた。

・テレビ委員会（委員長：相坂勇人）

4月11日、5月23日、7月11日、9月 8日、10月31日、12月 1日、1月17日、3月19日

1. 委員の交替

高野 與平（ADKマーケティング・ソリューションズ）⇒ 野田 祥永（同社）

川原崎祐司（電通）⇒ 福岡 大輔（同社）

諸我丈太郎（東急エージェンシー）⇒ 鳥塚 恵介（同社）

中谷 智子（フロンテッジ）⇒ 光井 時夫（同社）

井田晋太郎（マッキンゼーエリクソン）⇒ 相澤 学（同社）

2. 副委員長の交替

野田 祥永（ADKマーケティング・ソリューションズ）

福岡 大輔（電通）

3. ビデオリサーチ社ヒアリングについて

①ビデオリサーチ「CTV（コネクテッドTV）計測に向けた取り組み」について

ビデオリサーチ社が、テレビでの動画プラットフォームの視聴実態を把握することを目的に、ピープルメーター対象世帯においてWebセンサーによる計測を行い、動画視聴の実態を補足するサービスを、2025年10月頃より開始する。本件について、日本アドバタイザーズ協会に説明を実施した。

日 時 2023年5月11日（木） 11時30分～12時

場 所 日本アドバタイザーズ協会・会議室

②2025年4月以降のテレビ視聴率名古屋地区サンプル拡大について

2025年4月以降のテレビ視聴率名古屋地区サンプル拡大（現行600世帯→700世帯）について説明を受けた。

4. テレビCMオンライン運用について

①CM運行ワーキンググループの活動

(1)民業CM運行合同WGの開催

- 日 時 2023年10月17日（火）16時～17時
場 所 日本民間報道連盟 5階・第1会議室（ハイブリッド形式）
議 事・CM素材オンライン運用推進プロジェクト最新状況
- ・広告EDIセンターBCP対応ソリューションについて
 - ・CMDeCoのクラウド移行状況
 - ・広告EDIセンター送稿代行サービス利用状況
 - ・共通コード管理センター検索機能の一部縮小について、等

②テレビCM素材オンライン運用説明会への協力

5. 字幕付きCM普及推進協議会について

①字幕付きCMのデータについて

(1)放送割合調査

調査会社 東京企画／CM総合研究所

調査項目 字幕付きCMのオンエア秒数割合、字幕付きCMを出稿した企業数、字幕付きCMを出稿した企業の業種

調査対象期間中にオンエアされた字幕付きCMのオンエア秒数割合

2023年 4月：16.9%、2023年10月：16.7%

字幕付きCMを出稿した企業数

2023年 4月：70社、2023年10月：90社

(2)広告EDIセンター（字幕付きCM搬入状況・2024年3月時点）

全素材タイプ数 5,743本

字幕付きCMタイプ数 584本

字幕付きCMタイプ比率 10.2%

字幕付きCM作成広告主 88社

(3)日本ポストプロダクション協会（JPPA）制作状況（2023年12月時点） 331本

②「字幕付きCM通信」の発行

発行日 2023年 7月 3日（月）、2023年12月25日（月）

形 式 A4判横、カラー表裏2頁、年2回発行（7月、12月）

対 象 広告関係団体、聴覚障害者団体、字幕関係者、字幕付きCMポータルサイトほか各団体サイトに掲出

③字幕CM協議会3団体事務局会議（日本アドバタイゼーズ協会、民放連、JAAA）

日 時 2023年10月27日（金）10時～11時

形 式 オンライン（Teams）

内 容 2024年度の活動についての意見交換等

④字幕CM協議会・運営委員会

<第2回>

日 時 2023年 6月21日（水）13時～14時

形 式 オンライン（Teams）

議 事 字幕CM協議会通信発行の検討、字幕付きCM放送割合データの検討

<第3回>

日 時 2024年 1月31日（水）14時～15時

形 式 オンライン（Teams）

議 事 第9期（2023年 1月～12月）活動報告・決算（日本アドバタイザーズ協会）、第10期
活動計画・予算（日本民間放送連盟）

⑤JPPA「九州放送機器展」講師派遣

日 時 2023年 7月20日（木）15時～16時30分

場 所 福岡国際センター

主 催 JPPA九州支部

講 師 沼澤 忍（電通／制作取引委員会委員長／字幕CM協議会第9期運営委員）
藤井 康正（電通／テレビ委員会字幕付きCM検討WGリーダー）
成瀬 友弥（デジタルエッグ／JPPA）

内 容 JAAAの取り組み、字幕CM協議会の紹介、搬入基準等

参加者 39名

⑥字幕付きCMに関する意見交換会

日 時 2023年 9月11日（水）14時～15時 5分

形 式 オンライン（Teams）

主 催 日本民間放送連盟

議 事 字幕付きCM搬入基準改定に伴う制作等の情報共有

参 加 民放連CM運行等対策部会、字幕付きCM検討WG

内 容 制作の仕方の変化等の説明、意見交換

⑦字幕CM協議会取材対応、等

・日本マーケティング協会等の取材対応を実施。

・岡山市難聴者協会「耳の日」セミナー 講師派遣

主 催 岡山市難聴者協会

日 時 2024年 3月 3日（日）13時～15時30分

場 所 きらめきプラザ（岡山市北区）

テーマ 耳の健康事業～知っておきたい耳の健康と基礎知識について～

講 師 窪内 秀典（テレビ朝日）

沼澤 忍（電通／制作取引委員会委員長／字幕CM協議会第9期運営委員）

テーマ「知っておきたい耳の健康と基礎知識につて」、「字幕付きコマーシャルをもっと増やそう」

定 員 60名

⑧字幕付きCM普及促進協議会が東京広告協会白川忍賞特別功労賞を受賞

発 表 2024年 1月12日（金）

贈賞式 2024年 2月20日（火）於 帝国ホテル

6. テレビ広告懇談会〔テレビ広告取引に関する民放連・業協懇談会〕

①2023年度上期開催

日 時 2023年 9月 6日（水）10時～11時

形 式 オンライン（Teams）

②2023年度下期開催

日 時 2024年 2月21日（水）13時～14時

形 式 オンライン（Teams）

内 容 放送確認書誤記載調査結果報告、字幕CM協議会報告、オンライン運用最新状況、放送確認書次世代運用の検討等

7. 同時配信の放送局の対応について

2023年 6月21日 在京5社同時配信サービス営業WGより、日本アドバタイザーズ協会に対して進捗を報告。

6月22日 事務局より会員各社に放送局資料を展開。

7月11日 同WGよりテレビ委員会に資料説明。

報告要旨 同時配信が地上波テレビ視聴を毀損している傾向は見られず、むしろ若年層等テレビをあまり見ない層にも認知拡大が進んでおり、引き続き関心はあるがまだ利用していない層への訴求を行う旨共有した。またリアルタイム動画配信サービスのTVerが、2015年のサービス開始より堅調である旨の報告を受けた。

8. 「放送確認書誤記載調査」について

①「放送確認書誤記載調査（2022年度下期）」調査実施

調査期間 2022年10月～2023年 3月

対 象 テレビ委員会・放送確認ワーキンググループ

締 切 2023年6月23日（金）

調査参加会社 14社（I&S BBDO、朝日広告社、ADKマーケティング・ソリューションズ、オリコム、ジェイアール東日本企画、電通、東急エージェンシー、日本経済広告社、日本経済社、博報堂D Yメディアパートナーズ、ビデオプロモーション、フロンテッジ、毎日広告社、マッキャンエリクソン）

集計報告 番組＝誤記載 134件

スポット＝誤記載 206件

②「放送確認書誤記載調査（2023年度上期）」調査実施

調査期間 2023年 4月～2023年10月

対 象 テレビ委員会・放送確認ワーキンググループ

締 切 2023年11月13日（月）

調査参加会社 14社（I&S BBDO、朝日広告社、ADKマーケティング・ソリューションズ、オリコム、ジェイアール東日本企画、電通、東急エージェンシー、日本経済広告社、日本経済社、博報堂D Yメディアパートナーズ、ビデオプロモーション、フロンテッジ、毎日広告社、マッキャンエリクソン）

集計報告 番組＝誤記載 69件

スポット＝誤記載 135件

③放送確認WGの開催

(1) 2023年 7月 5日（水）13時～13時30分

2022年度下期放送確認書誤記載調査集計報告（案）の確認

(2) 2024年 1月11日（木）16時～17時

2023年度上期放送確認書誤記載調査集計報告（案）の確認

9. 無料BS放送におけるCM利用曲目報告について

民放連BS局（個別局）と日本音楽著作権協会（JASRAC）との契約において、無料BS放送におけるCMで使用される音楽著作物の権利者に対し、適正な分配が現状行われていないことについて民放連BS局より相談を受けたため、テレビ委員会正副委員長会議において協議を開始した。

・ラジオ委員会（委員長：木村直之）

5月10日、9月14日、11月21日、1月18日

1. 委員の交替

井上 宣明（電通）⇒ 中島 正雄（同社）

佐藤 翔平（マッキンゼーエリクソン）⇒ 吉森聡一郎（同社）

2. 副委員長の交替

中島 正雄（電通）

3. 民業ラジオCM運行合同WG

①「ラジオCM素材搬入基準」改訂について

第1回：4月26日 第2回：6月6日 第3回：7月4日 第4回：8月8日 第5回：9月5日

5回にわたる協議の結果、「ラジオCM素材搬入基準」を2023年11月に改訂、次いで2024年11月に適用予定。改訂の要旨は、「リスナーファースト」なラジオ放送とデジタル・オーディオ・プラットフォームとの統一化を実現するために、ラウドネス規定の導入、無音部分の設定、ラジオCM素材ファイルの構成の変更を行う。

②ラジオCMオンライン運用（Radi Pos）について

(1)素材数報告（2024年 3月） 搬入本数：6,993本 素材数：1,730本

(2)進行表件数（2024年 3月） 進行表作成件数：3,401件 局への搬入件数：5,307件、
使用広告会社数：146社

4. ラジオオンライン技術サブWG

毎月1度の会合を実施し、システム構築会社と素材数進行表オンライン件数の共有、障害報告に対する検討等を実施した。

5. AM波FM転換に関する日本アドバイザーズ協会への報告

日 時 2023年10月23日（月）13時～13時30分

場 所 日本アドバイザーズ協会・会議室

2023年11月に総務省より発表があった、AM波FM転換を日本アドバイザーズ協会事務局に対して説明を実施した。2028年に全国的なFM転換が実施されるが、先んじて2024年2月よりAM13局がFM転換を開始予定であるなど、今後のガイドラインについて報告した。

・新聞委員会（委員長：出光淑子）

2月2日

1. 委員の交替

榎本 規成（博報堂D Yメディアパートナーズ）⇒ 出光 淑子（同社）

2. 委員長の交替

出光 淑子（博報堂D Yメディアパートナーズ）

3. 新聞広告掲載確認調査

①日本新聞協会調査結果

2023年度4月～12月 全件（※）問題なし

※全件＝日本新聞協会会員全社及びデイリースポーツ

受領後、都度、日本アドバタイザーズ協会に報告。

②第三者機関のモニタリング調査

(1)概要 第三者機関を選定し、日本新聞協会加盟新聞社を対象に年1回調査。調査紙、調査ターゲット広告及び実施日については当協会を選定。

・調査目的 指定広告主の広告が、指定調査日発行の新聞全版（初版～最終版）に掲載されているかを確認する。

・確認内容 <1> 広告主名 <2> スペース（段数）

・掲載調査日 2023年11月21日（火）

・調査対象 全国紙、ブロック紙、地方紙、スポーツ紙、専門紙・夕刊紙
計129紙／196版

・確認ターゲット広告数 711

・第三者機関 日本デイリー通信社

・調査結果 すべての広告掲載を確認

調査結果を日本アドバタイザーズ協会・日本新聞協会に3月に報告。

4. 新聞広告の価値向上

①日本アドバタイザーズ協会・プリントメディア委員会セミナー

・新聞委員会として登壇者推薦に協力を行った。

テーマ 「新聞広告は、ソーシャルグッドからパーソナルグッドへ。個を動かす、社会メッセージとは？」

日時 2024年1月24日（水）16時～17時

登壇者 三井 明子（ADKマーケティング・ソリューションズ）

細川 万里（ADKマーケティング・ソリューションズ）

時田心太郎（ADKマーケティング・ソリューションズ）

今野 翔太（ADKクリエイティブ・ワン）

・雑誌委員会（委員長：前川昌子）

1月30日

1. 委員の交替

大平 若菜（マッキンゼーエリクソン）⇒ 財津研太郎（同社）

2. 雑誌広告の価値向上

日本アドタイザーズ協会（JAA）、日本雑誌広告協会（JMAA）、JAAA三団体共催セミナーの企画

日 時 2024年4月10日（水）14時～15時

テーマ 第65回「日本雑誌広告賞」

～受賞作品のご紹介と今後の雑誌広告の可能性～

講 師 田中 恵（集英社）

越智一仁（電通zero）

3. 雑誌広告デジタル送稿推進協議会（デジ協）の開催／オンライン送稿に関する現状の確認

①デジ協委員会のメンバーに正副委員長各社より委員を派遣

②デジタルセンド社の新オンライン送稿システムについて

<DSweb登録社数（2024年 1月現在、〔〕内は昨年）>

広告会社 86社（原稿制作代理店も含む）〔74社〕

出版社 31社〔30社〕

制作・製版会社 45社〔43社〕

印刷会社 13社〔13社〕

<オンライン送稿数の推移 2023年 1月～12月>

7,508本〔7,994本〕

・交通広告委員会（委員長：青柳淳英）

3月 5日

1. 委員の交替

安藤 亮司（オリコム）⇒ 古澤 彰浩（同社）

2. 副委員長の交替

古澤 彰浩（オリコム）

3. 交通広告の価値向上に関する活動

①交通広告セミナーの実施検討

交通広告に出稿している広告主等を講師に招き、広告会社対象に媒体価値の向上につながるような構成を検討した。

②日本鉄道広告協会（JAFRA）「交通広告共通指標推進プロジェクト」報告会

JAFRA交通広告共通指標推進プロジェクトより、車両メディア共通指標推定モデルのデータ更新など、2023年度の活動報告を受けた。

③OOH新共通指標策定プロジェクトについて

OOH新共通指標策定プロジェクトの活動について随時ヒアリングにて共有を行った。

・インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）

6月30日、12月21日、2月 7日

1. 経済産業省デジタルプラットフォーム透明化法についての説明会

<1回目> ※2023年 6月30日インターネット広告委員会

説明者 日置 純子・太田 誉康（経済産業省デジタル取引環境整備室）

- 内 容
- ・デジタルプラットフォーム取引透明化法の概要・沿革
 - ・デジタル広告市場への適用について（規制対象事業者の指定について）
 - ・デジタルプラットフォーム取引相談窓口について
 - ・透明化法に基づく「モニタリングレビュー（経産大臣評価）」について

<2回目> ※2023年12月21日インターネット広告委員会

説明者 仙田 正文・太田 誉康（経済産業省デジタル取引環境整備室）

- ・デジタルプラットフォーム取引透明化法のモニタリングレビューについて
- ・「2023年度第12回デジタルプラットフォームの透明性・公正性に関する、モニタリング会合」での意見をもとにした大臣評価・パブリックコメント募集に向けて説明を受けた。

2. 一般社団法人デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）について

①登録・認証状況 ※2024年1月時点。

登録アドバイザー 132社

登録事業者 183社

品質認証事業者 162社

賛助登録事業者 3社

サポート官公庁 2自治体

②関係セミナー・イベント

(1)JICDAQ主催「デジタル広告リスクマネジメントセミナー」

日 時 2023年 5月18日（木）16時～17時

形 式 オンライン

内 容 デジタル広告の基礎と課題、デジタル広告出稿プロセスの要諦（リスクマネジメントの観点から）、JICDAQ 設立と広告主に求められる行動他

(2)JICDAQ ANNUAL REPORT 2023

日 時 2023年11月16日（木）17時～18時

会 場 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

対 象 登録アドバイザー、サポート官公庁登録自治体関係者、登録事業者、メディア等

講 師 中島 聡（JICDAQ代表理事、JAA専務理事）

後藤 健郎（コンテンツ海外流通促進機構（CODA）代表理事）

内 容 JICDAQの現状と今後について、CODAの著作権侵害対応と正規流通促進への取り組み他

3. 海賊版サイトへの対応について

①コンテンツ海外流通促進機構（CODA）定期協議（事務局級）

日 時 2023年 7月28日（金）10時～11時

2023年11月20日（月）15時～16時

2024年 2月27日（火）14時～16時

形 式 オンライン

主な議題・「著作権侵害に関する要警戒リスト（CODAリスト）」の運用状況について
・CODAリストの利用に関するアンケートの実施について

②第5回海賊版サイトへの広告出稿抑制に関する合同会議

日 時 2023年 2月 5日（月）15時～16時

形 式 オンライン

主な議題・「著作権侵害に関する要警戒リスト（CODAリスト）」の運用状況について
・海賊版サイトへの広告出稿抑制について

4. デジタル広告課題意識調査結果について

JICDAQでは、昨年度に引き続き日本全国の広告に携わる企業の担当者を対象として、日本のデジタル広告市場における課題への認識と対応の実態把握を目的としたアンケート調査を企画し、JICDAQおよび認証事業についての浸透度や理解度などの実態や今後のデジタル広告課題の改善・解消に向けた定点観測を実施した。

調査期間 2023年 6月12日(月)～ 7月24日(月)

調査方法 Webアンケート

調査会社 ビデオリサーチ

調査対象 345社

結果サマリー

- ・デジタル広告課題に対する認知は「無効トラフィック」で約6割～9割、「ブランドセーフティ」で約8割以上。
- ・デジタル広告課題への対策状況は「無効トラフィック」で約5割～8割、「ブランドセーフティ」で約6割～8割。
- ・実施している対策内容としては、「信頼できるプラットフォームを精査、利用」や、「対策を行っているアドサーバーを利用」など全業種にわたって取引先、利用システムの精査の選択が最も高いスコア。
- ・JICDAQの認証取得・アドバイザー登録後の変化として、広告主は「デジタル広告課題への意識向上」、広告会社や媒体社では「社内の管理体制の整備」が見られる。

・メディア調査研究委員会（委員長：河村徹生）

7月26日、9月26日、11月15日、12月12日、1月19日、3月 1日

1. 委員の交替

古川 健吾（大広）⇒ 筒井 翔一（同社）

2. ビデオリサーチ社ヒアリング

下記についてビデオリサーチ社より説明を受け意見交換を行った。

- ・テレビ視聴率データCTV測定への取組み
- ・タイムシフトデータ異常値再納品状況の報告
- ・次期R&Fパラメータ更新について
- ・2023年度テレビ視聴率推定人口更新について
- ・OAOLデータ・コンテンツトータルリーチデータについて

- ・ TAR・CMRデータ（アド統合データ）について
 - ・ TVerデータについて
 - ・ 2025年 4月以降のテレビ視聴率名古屋地区サンプル拡大（現行600世帯→700世帯）について
3. OOH新共通指標策定プロジェクトについての情報共有
 上記プロジェクトについて、交通広告委員会と合同委員会を開き情報共有を行った。OOHについて業界共通指標の策定と、広告価値の再定義を目標に、媒体事業社、広告会社計12社で、「日本版OOHメジャメント標準化検討準備委員会」を構成しており、今後委員会としての関与の仕方について検討していくこととした。
4. テレビ×デジタル動画の統合指標についての意見交換
 広告計測を起点としたテレビとデジタル動画との統合指標について、継続的に情報収集や調査、研究を実施した。

・ **メディア業務改善委員会（委員長：井上 聡）**

2月 2日

1. 水曜定例「普及プロジェクト」会議

①テレビCMオンライン運用開始7年目

2017年10月より開始したオンライン運用は、2024年 1月で6年以上が経過した。2024年3月31日までの累計送稿本数は2,449,098本。（広告EDIセンター調べ）

②媒体扱い広告会社不在時のオンライン送稿代行業務の確立

放送局が自社で送稿を行うケースの運用を確立。2023年4月より運用を開始し、送稿代行契約局は15局、実施総本数は56本となった。

③次世代CMDDeCoのクラウドストレージ連携方式の導入を開始

送受信サーバーの耐久年数への対応のため、オンライン運用スタートの早かった放送局から順次クラウドに置換。2024年3月31日までで101局のクラウド化が完了し、残り36局は2024年秋までに完了の見通し。

2. CM素材オンライン運用推進プロジェクトの運営・実施

①ステークホルダーへの対応

(1)素材搬入事業者向け説明会・情報共有会の開催協力

<第1回>「JAAA素材搬入事業者説明会及び情報共有会」

日 時 2023年10月11日（水）15時～16時

参加者 素材搬入事業者：8社（32名）

内 容 CMオンライン送稿の最新状況、地方説明会での意見・感触等の確認、放送局クラウド移行の進捗状況、送稿代行サービス利用状況とCMDDeCo機能改善状況、字幕付きCMの流量共有とプロキシ映像対応のお願い、共通コード管理センターの検索機能の一部縮小について、他質疑応答等。

3. 放送確認書の次世代方式（ペーパーレス化）の検討について

民放連より、5月23日付文書「次世代放送確認書について」を受領、ポイントは①現行フローにおける広告会社、民間テレビ会社の責任分界点は変更しないこと。②次世代方式への移行に伴う費用負担は、受益者負担を原則とすることを確認する必要がある、との意見を受け、今後

の進め方について検討を行った。

①放送確認書次世代運用ワーキンググループ会合（1回目）

日 時 2023年 7月 4日（火） 14時～15時

場 所 電通銀座ビル会議室

内 容 民間テレビ会社と広告会社の責任分界点を整理し、民放連へ返答する文書を提出。同時に、次世代放送確認書のデジタル化に前向きな放送局へPoC(Proof of Concept：概念実証)を行っていく事について検討。

②放送確認書次世代運用ワーキンググループ会合（2回目）

日 時 2023年11月15日（水）・29日(水) 16時～17時

場 所 電通銀座ビル会議室

内 容 放送確認書の次世代方式(ペーパーレス化)の適正な取り扱い方法と、用紙とPDFが混在する過渡期の取り扱い方法について検討。また、JAAA側の検討資料を12月27日(水)に民放連に提出した。

4. その他

①広告EDIセンターの課題対応

オンライン運用の送稿素材数や広告主の数が進展する中、関係ステークホルダーからヒアリングを行い、CMDeCoの画面操作や通信障害トラブル時などのUX・UI対策について検討し、広告EDIセンターへ提言を行った。

・CM素材オンライン運用推進プロジェクト（リーダー：井上 聡）

1. テレビCM素材オンライン最新状況について（2024年 3月31日時点）

搬入素材数 2,449,098本

広告主数 5,732社

広告会社数 728社

搬入可能局数 188局

2. オンライン受入局数

2024年 3月31日現在

受入局数（民放連加盟局）【内訳】

系列局 114局中 114局

独立局 13局中 13局

B S局 13局中 10局

合 計 140局中 137局

民放連加盟社以外のBS/CS局オンライン送稿運用

B S局（民放連未加盟）2局

C S局 27社・49局

※2024年2月1日より日本ケーブルテレビジョンが素材受入開始

総計として、オンライン運用開始済みは188局となった。

3. 「送稿代行サービス」進捗状況

それまで仮称としていた代理送稿サービスを、「送稿代行サービス」と正式名称に決定した。

媒体扱い広告会社不在時に広告EDIセンターが広告会社の役割を代行するサービス。

概要 放送局も広告EDIセンターと契約しCMDeCo送稿代行サービス（放送局向け）を利用することでCM素材のオンライン送稿が可能となる

申込方法 広告EDIセンターCMDeCo送稿代行担当宛にメール連絡の上申込を行う。

料金 月額1,000円（利用月のみ請求）

サービス開始 2023年 4月 3日（月）

利用実績（2月5日時点） 契約放送局：15局 利用放送局：11局

送稿本数：56本 広告主数：17社

自局送稿率：90.9%（自局宛9局他局宛1局）

4. 説明会の状況

広告会社での普及促進のため、ローカルエリアをターゲットし説明会を実施。オンライン運用メリット及び導入手順、地方放送局への代理送稿方式、素材搬入事業者各社の紹介等を説明した。

①東京説明会

日時 2023年 4月 5日（水）14時～15時30分

会場 電通ホール（ハイブリッド開催）

協力 東京広告協会

参加者 広告会社テレビ担当者112名（オフライン参加17社24名、オンライン参加32社88名）

②山形説明会

日時 2023年 4月19日（水）14時～15時30分、16時～17時30分

会場 山形メディアタワー

協力 山形県広告業協会

参加者 広告会社テレビ担当者 11社・17名

放送局営業担当者 4局・17名

③広島説明会

日時 2023年 6月21日（水）14時～15時30分、16時～17時30分

会場 広島テレビ放送

参加者 広告会社テレビ担当者 40社・68名

放送局営業担当者 4局・7名

④沖縄説明会

日時 2023年 7月26日（水）10時～11時30分、13時30分～15時

会場 琉球放送

参加者 広告会社テレビ担当者 25社・40名

放送局営業担当者 3局・25名

⑤熊本説明会

日時 2023年 8月31日（木）10時～11時30分、13時30分～15時

会場 熊本県民テレビ会議室ABC

参加者 広告会社テレビ担当者 17社・21名

放送局営業担当者 4局・21名

⑥鳥取島根説明会

日 時 2023年 11月 9日（木）13時30分～14時30分、15時～16時30分

会 場 山陰中央テレビジョン

参加者 広告会社テレビ担当者 7社・9名

放送局営業担当者 3局・11名

⑦福島説明会

日 時 2023年 11月20日（月）13時30分～14時30分、15時～16時30分

会 場 福島中央テレビ（ハイブリッド開催）

参加者 広告会社テレビ担当者 48名（オフライン参加17社31名、オンライン参加12社17名）

放送局営業担当者（オフライン参加） 4局・24名

⑧長野説明会オンライン説明会

日 時 2023年 12月 6日（水）15時～16時30分

形 式 オンライン

参加者 広告会社テレビ担当者 20社・44名

⑨令和6年能登半島地震のCMDDeCo影響について

北陸3県、（石川、富山、福井）の送受信サーバーは全てクラウド化済だった為、令和6年能登半島地震によるCMDDeCo関連システムへの影響はなし。

・OOH新共通指標策定プロジェクト（リーダー：三池 元、高橋隆晃）

1. プロジェクトの目的

①OOH媒体の広告価値の基礎指標となる業界共通指標の策定

②OOH独自価値の可視化への取り組みを通じたOOH広告価値の再定義

2. 「日本版OOHメジャメント標準化検討準備委員会」構成メンバー

<媒体事業社・屋外系> エムシードウコー、パス・コミュニケーションズ、LIVE BOARD

<媒体事業社・交通系> ジェイアール東日本企画、東急エージェンシー、
メトロアドエージェンシー

<広告会社・総合系> ADKマーケティング・ソリューションズ、
電通、博報堂DYメディアパートナーズ

<広告会社・専門系> NKB、オリコム、協立広告

<オブザーバー> デジタルサイネージコンソーシアム

3. 会議体について

意思決定者会議と実務者会議、技術ワーキングの定例会を定期的に開催し、広告主・媒体社・
広告会社間の合意形成、運営組織組成までのロードマップの策定、ワーキンググループの編成、
役割分担等、継続的に協議を実施した。

◆クリエイティブ委員会（担当理事：菊地英之 委員長：能登健裕）

9月7日、10月5日、1月16日、3月11日

1. 委員の交替

石塚 千弥（クオラス）⇒ 岡林 和也（同社）

松尾 秀実（電通グループ）⇒ 佐々木康晴（電通）

2. 2022年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞発表・表彰について

①発表

第332回理事会（3/24（金）開催）の承認後、発表。

ウェブサイトへの掲出、関係各所へのニュースリリース発送。

②表彰・臨時増刊号の発行

2023年5月31日（水）、定時総会・表彰式にて表彰。

JAAA REPORTS臨時増刊号の発行。

【表彰盾、メダル】

2022年CREATOR OF THE YEAR 1名 …金盾

2022年CREATOR OF THE YEAR MEDALIST 7名 …メダル

【JAAA REPORTS臨時増刊号】

「2022年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集（No.825）」制作

発行日 2023年 5月31日

印刷部数 5,900部

配布先 会員各社、関係団体等に配布、PRを推進。

3. 2022年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者講演について（2023年度実施報告）

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者による講演を開催した。コーディネーターは多賀谷委員（グレイワールドワイド）が担当した。前年に引き続き各地広告業協会との受賞者講演を全国5カ所で開催（名古屋・札幌・大阪・静岡・福岡）、東京でも4年ぶりにオフラインで、参加費無料で開催した。

<名古屋>「第71回名広協クリエイティブ研究会」

日時 2023年 7月31日（月）14時～16時30分

会場 JPタワー名古屋ホール&カンファレンス

講演者 栗田 雅俊（電通）、奥山 雄太（SIX／博報堂）、吉川 隼太（電通）

参加者 110名（前回 98名）

<東京>「第86回JAAAクリエイティブ研究会」

日時 2023年 8月18日（金）13時30分～16時

会場 電通ホール

講演者 栗田 雅俊（電通）、宇佐美雅俊（TBWA\HAKUHODO）、
細川 万理（ADKマーケティング・ソリューションズ）

参加者 201名（前回2019年：368名 ※会場等の条件は4年前と異なる）

<札幌>「第41回HAAAクリエイティブ研究会」

日時 2023年10月17日（火）13時30分～16時

会場 札幌グランドホテル

講演者 栗田 雅俊（電通）、細川 万理（ADKマーケティング・ソリューションズ）、
稲村 陽一（グレイワールドワイド）

参加者 95名（前回：60名）

<大阪>「第42回OAAAクリエイティブ研究会」

日 時 2023年10月31日（火）13時30分～16時

会 場 大阪大学中之島センター

講演者 栗田 雅俊（電通）、吉川 隼太（電通）、中野 仁嘉（博報堂）

参加者 74名（前回：54名）

<静岡>「第19回SAAAクリエイティブ研究会」

日 時 2023年11月 7日（火）13時30分～16時30分

会 場 しずぎんホール

講演者 栗田 雅俊（電通）、奥山 雄太（SIX／博報堂）、
新井 勝也（TBWA\HAKUHODO）

参加者 200名（前回：浜松380名）

<福岡>「第39回JAAAクリエイティブ研究会・福岡」

日 時 2023年11月14日（火）18時～20時30分

会 場 エルガーラホール

講演者 栗田 雅俊（電通）、宇佐美雅俊（TBWA\HAKUHODO）、
中野 仁嘉（博報堂）

参加者 430名（前回：406名）

<JAAA会員代表者懇談会>

日 時 2023年12月11日（月）17時～19時30分

会 場 帝国ホテル

講演者 栗田 雅俊（電通）、福永 琢磨（電通・懸賞論文金賞受賞者）

参加者 64名

—定期開催以外の講演—

<山形>「山形県広告業協会・YAAA広告セミナー」

日 時 2024年 1月24日（水）14時～17時30分

会 場 ホテルメトロポリタン山形

講演者 栗田 雅俊（電通）、他 1名

参加者 71名

<宇都宮>「栃木県広告業協会・研修会」

日 時 2024年 2月22日（木）14時30分～16時

会 場 栃木県総合文化センター

講演者 栗田 雅俊（電通）

参加者 100名

—JAAA会員社での講演—

I&S BBDO（2月14日・150名）、スコープ（3月19日・140名）…いずれも栗田雅俊氏

4. 2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞について

募集期間 2023年12月 1日（金）～2024年 1月31日（水）

募集ビジュアル制作担当 Wunderman Thompson Tokyo

応募促進 過去2年間未応募の会員社に対して推薦応募依頼のメールを展開

ノミネート数 21社・30名

スケジュール 2023年12月 1日（金） エントリー受付開始
2024年 1月31日（水） 募集締切
2月21日（水）～3月4日（月） 事前審査期間
3月11日（月） 審査会、クリエイティブ委員会
3月25日（月） 第338回理事会、受賞者発表
5月31日（金） 2024年度定時総会・表彰式
JAAA REPORTS臨時増刊号（COY特集号）発行

審査員 松井 亘平（I&S BBDO）
山極 和弘（朝日広告社）
三井 明子（ADKマーケティング・ソリューションズ）
岡林 和也（クオラス）
多賀谷昌徳（グレイワールドワイド）※審査員長
浅井 芳樹（三晃社）
長谷川羊介（ジェイアール東日本企画）
石井 智（第一通信社）
濱 弘幸（大広WEDO）
西橋佐知子（電通）
堀内有為子（東急エージェンシー）
朝比奈 綾（日本経済社）
佐々木貴子（博報堂）
半澤未奈子（マッキンゼーエリクソン）
竹中 愛（読売広告社）
山本絵理子（Wunderman Thompson Tokyo）

審査 30名（21社）のノミネートがあり、事前に審査員には「審査資料」「応募動画」を展開し審査基準で評価、事前審査シートの提出を依頼した。審査会当日は、事前審査シートの結果をもとに協議を行い、クリエイター・オブ・ザ・イヤー 1名、クリエイター・オブ・ザ・イヤー メダリスト11名を選出した。

5. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の見直しについて

前年度に引き続き、賞の見直しについて多様性・ジェンダーの観点を中心に、検討プロジェクトを組成して検討した。プロジェクトでの検討内容を委員会へ提案し、以下の見直しを行った。

①検討プロジェクトの実施

第1回：5月 8日（月） 第2回：7月 6日（木） 第3回：8月 3日（木）
第4回：10月 6日（金） 第5回：11月27日（月） 第6回：1月11日（木）
第7回：2月21日（水）

②委員会への提案内容

- ・クリエイティブ委員会の傘下にCOY賞審査会を設置すること。
- ・クリエイティブ委員が自薦もしくは自社から審査員を推薦すること（推薦は毎年実施）。
- ・選出された16名の審査員をクリエイティブ委員会で承認、理事会に報告すること。
- ・審査員長は推薦された16名の中から決定すること。

③規約・審査要領等の改定

審査会を設置し、委員または委員が推薦する者を審査員とすること等に伴い、下記の改定を行った。

- ・規約（第14条 審査員）…審査員を「委員もしくは委員が推薦する者」と改定
- ・審査要領（第8条・第9条 審査会）…同上、審査員長は審査員のうち1名が兼任する旨改定。
- ・推薦用紙（推薦人）…候補者の推薦人を「会員代表者」と定め、「広告人行動指針」に則った推薦を依頼。
- ・推薦用紙（クリエイティブワークに関する追記）…全て応募者の広告コミュニケーション活動として公表できるものに限る旨追記。

6. 広告電通賞審査員について

クリエイター・オブ・ザ・イヤーを受賞した1名に、翌年の広告電通賞（ブランドエキスパート部門）選考委員を委嘱したいとの打診があり、賞のPRにもつながることから承諾した。

※例）2023年受賞の栗田雅俊氏は2024年の選考に参加予定

◆マネジメント委員会（担当理事：桑原常泰）

傘下の8つの事業委員会委員長と一部ビジネス統括委員会傘下の委員会委員長を委員とし、人材・働き方・社会課題テーマなど会員社のコーポレートガバナンス・業界全体のマネジメント課題を共有・議論を行った。

・人材育成委員会（委員長：太田理奈子）

6月20日、12月7日、2月28日

1. 委員の交替

酒井あゆみ（ADKホールディングス）⇒ 永井 大雅（同社）

鈴木 寛幸（ジェイアール東日本企画）⇒ 田畑 俊（同社）

2. 第50回新入社員教育セミナー実施報告

日 程 2023年4月4日（火）～4月7日（金）9時30分～16時30分（4日間）

形 式 ハイブリッド（1日目～3日目はオンライン講義、4日目は機械振興会館にてグループディスカッションを実施）

参加費 44,000円（1名税込）

参加者 25社・109名

内 容・テキストとして『広告ビジネス入門第24版』を使用

- ・グループディスカッションのテーマ「5年後の広告業界をより発展させるアイデアを考える」

3. 第28回フォローアップセミナー実施報告

日 程 2023年11月9日（木）～10日（金）10時～16時30分（2日間）

会 場 機械振興会館

参加費 33,000円（1名税込）

参加者 12社・34名

構 成 [1日目] ファシリテーターによる説明、グループワークショップ

[2日目] グループワークショップ、発表会、講評、懇親会

テーマ 『広告、どう解く?』

ファシリテーター イノベーション委員会「第11回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」実行WGメンバーに依頼

北野 真惟 (I&S BBDO)

大町 陸 (東急エージェンシー)

山本江美奈 (東急エージェンシー)

江口 省悟 (博報堂/博報堂DYコーポレートイニシアティブ)

境 大空 (メトロアドエージェンシー)

児玉 夢雅 (読売広告社)

田畑 良 (読売広告社)

・ 広告ビジネス入門発行委員会

1月16日、3月13日

1. 委員の交替

松岡 弘樹 (ADKホールディングス) ⇒ 甲斐雄一郎 (同社)

澤田 桐智 (東急エージェンシー) ⇒ 加藤 千絵 (同社)

2. 第25版 (新版) について

2024年 9月下旬発行予定の第25版の執筆・編集作業を開始した。

・ 懸賞論文委員会 (委員長: 鈴木良平)

4月25日、6月 2日、10月16日、1月 9日、3月 1日、3月19日

1. 委員の交替

白土 栄次 (オリコム) ⇒ 水科 宗作 (同社)

長谷川 敦 (クオラス) ⇒ 中原 敬介 (同社)

飯塚 久哲 (東急エージェンシー) ⇒ 小方 靖 (同社)

津田 裕 (マッキンゼーエリクソン) ⇒ 吉開 陽 (同社)

2. 委員長の交替

鈴木 良平 (ジェイアール東日本企画)

3. 第52回懸賞論文について

①表彰式

日 時 2023年 5月31日 (水) (本協会定時総会・表彰式)

会 場 東京會館

②入賞・入選

『論 文』 課題: 広告と幸福

金賞 1編 (1名) / 銀賞 1編 (1名) / 銅賞 1編 (1名)

『私の言いたいこと』

<一般部門> 第1テーマ 広告ビジネス: 1編 (1名)

第2テーマ 広告プランニング: 1編 (1名)

<新人部門> テーマ自由：2編（2名）

<プレゼンテーション部門> テーマ自由：1編（1名）

③入賞・入選作品集の発行（JAAA REPORTS臨時増刊号No.824）

発行日 2023年 5月31日

版 型 B5判 83頁

制作部数 4,600部

配布先 応募者、会員社、広告主、媒体社、関係団体、広告学会など

④広報施策

- ・「入賞・入選作品集」を一部、ウェブサイトにPDF掲載。
- ・第47回より継続して、著者に許可を得た上でファイナリスト作品をウェブサイトにPDF掲載。プレゼン部門は入選作品・ファイナリスト作品の動画を掲載した。
- ・アドタイに金賞要旨掲載。
- ・第52回のファイナリスト23名に「JAAA懸賞論文」名入りの図書カードを配布した。

3. 第53回懸賞論文募集について

①募集活動

2023年 6月 1日9時30分の募集開始にあわせ、ポスター・バナーデータを会員社に発送した。またJAAA REPORTSの7月・8月・9月号にポスターデータを掲載、9月29日24時に募集を締め切った。

【募集ポスター・バナーの制作】

制作会社 ジェイアール東日本企画

「そろそろ居酒屋以外でもデカイこと言いませんか？」

制作部数ほか ポスター（B3）1,000 部

バナー JAAAウェブサイト、各種SNS用など9種

②課題・テーマ

『論文』課題：広告の新しい姿

『私の言いたいこと』

<一般部門> 第1または第2テーマのいずれかを選択

第1テーマ：広告ビジネス、第2テーマ：広告プランニング

<新人部門> 応募時26歳まで。テーマ：自由

<プレゼンテーション部門> テーマ：自由

③応募促進に向けた取り組み

(1) SNS広報施策「論文委員のつぶやき」

実施期間 2023年 6月12日（月）～ 6月30日（金）※1日1回投稿

実施結果 X（旧Twitter）インプレッション数 約4,900（昨年4,780）

(2) エントリー説明会「受賞作品と自身の応募の取り組みについて」

日 時 2023年 7月 7日（金）15時～16時10分

形 式 オンライン（Zoom）

講 師 福永 琢磨（電通／第52回金賞）

平野光太郎（博報堂／第52回一般入選）

小野万優子（博報堂／第52回新人入選）

高石 瑞希（大広WEDO／第52回プレゼン入選）

対 象 JAAA会員社（参加費無料）

参加者 17社・125名（昨年22社・114名）

終了後、講演動画・講師資料・エントリー前のチェックリストをJAAAウェブサイト会員ページに掲載した。

④応募数 （ ）内は昨年第52回

第53回応募数

論文部門 34編（22編）

一般部門 第1テーマ 33編（27編）

一般部門 第2テーマ 18編（9編）

一般部門 計 51編（36編）

新人部門 162編（123編）

プレゼンテーション部門 1編（3編）

総数 248編（184編）

⑤審査方法とスケジュール

審査作品のPDFを配布し、希望者には紙配布を行った。プレゼンテーション部門は応募数が1編だったことから、第1次審査にてグループごとに評価をすることとした。

(1)第1次審査

【方 法】審査員を4グループに分け、各グループ新人部門40～41編、一般部門12～13編、論文8～9編について審査を行った。各自○×評価後、グループごとに検討の上、第1次通過作品を決定した。

【スケジュール】

- ・新人部門／プレゼンテーション部門：2023年10月16日～11月14日 各自評価
11月16日、17日 第1回グループ審査会
- ・論文／一般部門：2023年11月20日～2024年1月5日 各自評価
2024年1月11日、12日 第2回グループ審査会

(2)第2次審査

【方 法】『論文』11編『私の言いたいこと』31編、総計42編を各審査員が点数で評価した。

【スケジュール】2024年1月15日～2月16日

※剽窃チェックツール「コピペルナー」を導入し、第2次審査作品を解析する。コピペ率30%以上は注意喚起作品として査読を必要としていたが、該当作品はなかった。

(3)最終審査会

【方 法】第2次審査結果を集計し、協議の上、入賞・入選を内定する。

【スケジュール】2024年2月29日～3月1日

『論 文』 課題：広告の新しい姿

金賞 1編（1名）／銀賞 該当なし／銅賞 2編（2名）

『私の言いたいこと』

<一般部門> 第1テーマ 広告ビジネス：2編（2名）

第2テーマ 広告プランニング：3編（3名）

<新人部門> テーマ自由：3編（3名）

<プレゼンテーション部門> テーマ自由：該当なし

3月理事会にて承認後、ウェブサイト、広告専門誌・紙に発表、5月31日に表彰式を行う。

4. 応募増進にむけたプロジェクト活動

「応募数の増加と懸賞論文の活性化」を目標に、5つのチームを組成し活動。原則として進め方は各チームに任せ、定期的に委員会にて活動報告を実施。

①社内推進の検討チーム

・JAAA懸賞論文委員社内推進ガイドの作成

②レギュレーションの検討チーム

・第53回懸賞論文応募者へアンケートの実施

・第54回懸賞論文のレギュレーション検討

③論文コンテンツの活用チーム

・受賞者座談会実施

テーマ「その広告、幸せ生んでますか？」

～第52回懸賞論文：課題「広告と幸福」 受賞作より紐解く～

日 時 2023年10月10日（火）16時30分～18時

形 式 オンライン（Zoom）

モデレーター 河尻 亨一（編集者、銀河ライター主宰）

スピーカー 福永 琢磨（電通／第52回金賞）

小糸 和夫（電通／第52回銀賞）

天野 徹（電通／第52回銅賞）

対 象 JAAA会員社、広告業界関係者（参加費無料）

参 加 66社・109名

④過去の受賞者活用チーム

・新人社員・若手社員に伝えるコミュニケーション施策の検討

⑤プロモーションの検討チーム

・アンケート、ランディングページ、SNSを活用したプロモーションの検討

5. 金賞受賞者のハイライト

第52回金賞受賞の福永琢磨氏（電通）に下記講演を依頼し、実施をした。

①岩手県広告業協会へ講師派遣『令和5年度 岩手県広告業協会 社員研修セミナー』

日 時 2023年11月16日（木）14時30分～16時30分

会 場 おでってホール

参加者 65名

②『2023年度会員代表者懇談会』

日 時 2023年12月11日（月）17時～19時30分

会 場 帝国ホテル

参加者 64名

・海外交流委員会（委員長：高橋 修）

4月11日、6月26日、9月13日、12月 1日、3月 4日

1. 委員の交替

三上 智也（大広）⇒ 下山 謙和（同社）

内山 遊子（Wunderman Thompson Tokyo）⇒ 佐藤 綾子（同社）

2. 委員の退任

吉岡 伸晃（読売広告社）

3. 海外派遣研修事業の件

①実施に向けた検討

海外交流委員会全委員を対象に、参加方面・参加費用に関するアンケートを実施。4月11日の委員会で、アンケートまとめをもとに意見交換を実施し、2023年度海外派遣は「Spikes Asia2024研修ツアー」の派遣を想定して企画を進めることとした。

②会員社アンケートの実施

その後、全会員社を対象として「2023年度海外派遣；Spikes Asia研修ツアー」の参加意向、海外交流委員会への意見募集のアンケートを実施。

- ・「Spikes Asia研修ツアー」の催行検討のための材料収集。
- ・ Spikes Asia 研修ツアー 募集見込費用（旅行社と相談）60万円以上の見込み
- ・ 場所：シンガポール・5泊7日を想定
- ・ 募集期間 6月 6日～ 8月31日

③アンケート回収結果

- ・ 回答社数 74社回答（4社重複回答）
- ・ 参加予定意思あり = 5社、予定なし = 60社、未定 = 9社

④派遣実施の決定

9月13日の海外交流委員会において結果をもとに検討の結果、10名程度での催行を目途として研修派遣募集を決定。更に12月の委員会で現地企業訪問研修先2社を検討し、委員からの提案及び折衝の結果訪問受け入れが確定した。

- ・ Distilleri Group ※日本経済広告社 渡辺委員推薦
- ・ Forsman & Bodenfors ※マツキャンエリクソン 大木委員推薦

⑤研修ツアー概要

日 程 2024年 3月12日（火）～ 3月17日（日）＜5.5日間＞

訪問都市 シンガポール

参加費 1名 598,240円

（*スパイクスアジア2024アーリーバード登録料を含む。燃油サーチャージは10月時点41,500円を含む。空港使用料・団体包括手数料は含まず。）

旅行社 ベストワールド株式会社

参加締切 2023年12月14日（木）

- ・ 11月14日より参加募集を会員社に通知開始。
- ・ 11月17日に松浦良高氏（株式会社Strategy X 代表取締役CEO）にコーディネーターを依頼・就任。Spikes Asia 2024研修ツアーに同行。11月20日に会員社に更新情報を通知、

JAAAウェブサイトの掲載を実施。

・2024年1月17日に参加受付を終了した。

⑥募集結果と研修ツアーの実施

参加者 10社・20名

参加会社 大広WEDO、デイリースポーツ案内広告社、テー・オー・ダブリュー、電通ランウェイ、日本経済広告社、日本経済社、博報堂、博報堂Gravity、フロンテッジ、メトロアドエージェンシー

コーディネーター：松浦 良高 (Strategy X)

事務局同行者：木村 敏文 (副事務局長)

※参加者を対象に事前研修会を2月1日、及び2月27日に実施した。

※参加者を4グループに分け、帰国後研修レポートを作成。JAAA REPORTS 5月号と、協会ウェブサイトに掲載 (2024年5月発表)。

4. 海外セミナーの企画と実施

下記セミナーを企画、オンライン (Zoom) で実施した。

①「Spikes Asia2023 躍動するアジアのクリエイティブ」

日時 2023年7月6日 (木) 14時~15時

講師 新沢 崇幸 (Wunderman Thompson Tokyo / Spikes Asia2023 Film審査員 / JAAAクリエイティブ委員会委員)

参加 44社・172名

②「Cannes2023に見るブランドアクティベーション」

日時 2023年8月3日 (木) 14時~15時

講師：石原 和 (マッキン・ワールドグループ・ホールディングス / マッキンエリクソン / JAAAクリエイティブ委員会委員)

参加 60社・242名

③「Cannes2023セミナー第2弾—18回目のCannes2023訪問で得たもの—」

日時 2023年9月7日 (木) 14時~15時

講師 佐藤 達郎 (多摩美術大学教授「コミュニケーション・ラボ」代表)

参加 62社・238名

④「観光立国推進にむけて—中国・インドのインバウンド 現状と未来へのヒント—」

日時 2023年11月21日 (火) 14時~15時

講師 小澤 亘 (大広 上海)
沖村 伸樹 (大広 デリー)

参加 40社・90名

⑤「デジタル時代のグローバル・マーケティング、そのDilemmaとOpportunity」

日時 2024年1月24日 (水) 13時30分~14時30分

講師 大森健一郎 (グループエム・ジャパン Accountability Director、
*元ADKホールディングス、元海外交流委員)

参加 31社・90名

5. 海外広告関係団体への協力

①アドバタイジングウィーク・アジア（AWA東京）への協力

吉井陽交AWA事務局長より下記案内があり委員会で情報を共有した。

Advertising Week Asia 2023（第8回）

主 催 Advertising Week Asia事務局

後 援 JAAA他

会 場 東京ミッドタウン他

会 期 2023年 6月 6日（火）～ 6月 8日（木）

②中国広告協会（China Advertising Association）

2019年に創設された中国北京の広告祭「The Beijing International Public Service

Advertisement Conference」についての連絡があり、海外交流委員会委員にインフォメーションを行った。

・イノベーション委員会（委員長：高崎敦士）

5月24日、3月11日

1. 委員の交替

加藤 直樹（東急エージェンシー）⇒ 綿野 崇（同社）

2. 委員長＝審査委員長

2023年度（第11回） 丸山 翼（ADKホールディングス）

3. 第11回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」ワーキングメンバーの交替

東 美沙（I&S BBDO）⇒ 北野 真唯（同社）

平山 千尋（I&S BBDO）⇒ 安井 優太（同社）

岡田 大毅（ADKマーケティング・ソリューションズ）⇒ 勝山 葉月（同社）

武田 優美（ジェイアール東日本企画）⇒ 小林 亮太（同社）

西山 隼介（大広）⇒ 渡辺 涼雅（同社）

用丸 雅也（電通）⇒ 福島 陽（同社）

三浦 麻衣（電通）⇒ 小林 千秋（同社）

関谷 拓巳（TBWA\HAKUHODO）⇒ 徳岡 淳司（博報堂）

平松 咲羅（マツキャンエリクソン）⇒ 前田 香織（同社）

木村 要（マツキャンエリクソン）⇒ 伊達 習人（同社）

長谷川広典（読売広告社）⇒ 児玉 夢雅（同社）

4. 第11回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」募集
募集期間 2023年10月 1日（日）～10月31日（火）

応募総数 161件（第10回 124件）

5. 賞のPR

オフラインイベント「100の好きで繋がる会～みんなの好きで自分を塗りがえろ～」

日 時 2023年10月27日（金）19時30分～21時

場 所 BasisPoint Lab新橋日比谷口店

参加者 22名

内 容 30歳以下の若手が集まり自由に「好き」を語り合う会。「好き」を知ること=インサイトを発見することで、日々の業務に役立つヒントが見つかる場所をつくる。

6. 第11回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」審査
実行ワーキングメンバーによる第1次審査、第2次審査、最終審査を行った結果、第11回の大賞は施策主体の都合により辞退、優秀賞4件、特別賞1件を選出した。

・PR委員会（委員長：山崎正道）

9月27日、1月23日

1. 委員の交替

良田 幸（オプト）⇒ 生嶋 花織（同社）

北島 冬彦（日本経済社）⇒ 平井美英子（同社）

2. 「広告の広告」によるPR活動

「広告」の理解促進活動として「広告の広告」を制作、日本新聞協会並びに日本雑誌協会及び日本雑誌広告協会加盟社の協力を得て実施した。

①2023年度「広告の広告」について

制作担当 ADKマーケティング・ソリューションズ（ADKクリエイティブ・ワン）

広告原稿 メインコピー かわいいほうが好き。

ボディコピー かわいいものかっこいいと感じることに、理由なんて必要だろうか。「かっこいいから、かっこいい。」ワクワクするし、ドキドキする。なぜだかは、自分でも分からない。でも、人が動くきっかけって、そのくらいのコトなんじゃないだろうか。広告はどうだろう。空気を読んでばかりではないか。そこに想いは込められているのか。せっかく届けるんだ。広告もかっこいいほうがいいと思う。こころを社会を、動かせ広告。

<2023年度掲載実績>

- ・新聞 日本新聞協会加盟社に掲載協力を要請

スペース 半5段・半3段・全1段・突出

期 間 2023年4月1日～11月30日

掲載回数 2,138回（71紙）

金額換算 543,891,000円

- ・雑誌 日本雑誌協会・日本雑誌広告協会加盟社に掲載協力を要請

スペース A4・A4変・A5・B5

期 間 2023年4月1日～11月30日

掲載回数 17回（7誌）

金額換算 12,770,000円

- ・JAAA REPORTS（会報誌）

スペース 表3

期 間 2023年4月～2024年3月

- ・JAAAウェブサイト

スペース メインビジュアル

期 間 2023年4月～2024年3月

・JAAA公式SNS

スペース カバー画像

期 間 2023年4月～2024年3月

②2024年度「広告の広告」について

制作担当 マッキャンエリクソン（クラフトワールドワイド）

3. 学生向けPR施策の実施

事業計画に則り、前年度に企画・検討した学生向けPR施策について、マスナビ（マスメディアン）とのコラボイベントという形で以下の通り実施した。

テーマ「自分のため、社会のため」はたらくを考える就活セミナー～広告だからできること～

主 催 マスナビ（マスメディアン）

日 時 2023年 6月 9日(金)16時30分～18時

形 式 オンライン（Zoom）

登壇者 大重 恵里（アイレップ）

花見 雅葵（朝日広告社）

野嶋 友博（オプトノアカーマン）

山崎 博司（博報堂）

参加費 無料

対 象 大学3年生

参加者 79名

本企画については、以下の媒体にイベントレポートを掲載した。

・「広告界就職ガイド2025（マスメディアン マスナビBOOKS編集部）」

・マスメディアンウェブサイト

・JAAAウェブサイト、SNS（X [旧Twitter]、Facebook）（マスメディアンより記事転載、出典元明記）

4. 協会広報活動

協会事業に関しニュースリリースの送付等を円滑に行った。また、協会オウンドメディア（会報・JAAAウェブサイト・SNS）を活用した広報を行った。

・会報編集委員会（委員長：高澤正行）

6月15日、9月12日、1月26日

1. 委員の交替

清水 育欧（アイプラネット）⇒ 東島加衣子（同社）

原田 裕美（大広）⇒ 千田 恵梨（同社）

内山 遊子（Wunderman Thompson Tokyo）⇒ 佐藤 綾子（同社）

松島 俊輔（電通コーポレートワン）⇒ 河南 周作（同社）

堀越 達矢（双葉通信社）⇒ 谷 佳詩子（同社）

2. 発行・掲載規模

主な読者である会員各社の社員の就業環境を加味し、会報のWeb移行トライアル期間の初年度

として、シリーズ企画を新たに立ち上げたウェブサイト「JAAA REPORTS」に掲載した。

【冊子】

発行 毎月1日

判型 B5判、表紙込16ページ

発行部数 3,700部

配布対象 当協会会員社、各地区広告業協会、関係団体、業界紙・誌、広告学会・広研、官公庁、その他

【Web】 2023年4月よりウェブサイトを開（一般公開）

URL <https://jaaareports.jaaa.ne.jp/>

記事更新 毎月1日

3. 基本企画

【冊子】

| | |
|---------------------------------|-------|
| ・表紙 東急エージェンシー「Behind the color」 | 表1・表4 |
| ・ビジュアル・トピック | 表2 |
| ・目次 | P 1 |
| ・ひと・こと | P 1 |
| ・特集 | P 2～9 |
| ・広告業界の先輩 | P 10 |
| ・知ってトクする! 広告人のための法律知識 | P 11 |
| ・JAAA 会員社巡り。 | P 12 |
| ・Information | P 12 |
| ・協会活動 | P 12 |
| ・「広告の広告」 | 表3 |

【Web】

- ・Fresh Eye
- ・ワールドレポート
- ・自治体のここに注目! 「自治体×○○」PR
- ・広告ビジネス用語
- ・今はそれアウトです! 令和のコンプライアンス辞典
- ・シニア市場と未来予測

4. 特集企画

2023年

4月号「第10回JAAA若手大賞 審査結果発表」

5月号「JAAA史上初 広告会社横断型『広告業界 ミライ調査』

未来に向けて浮かび上がってきたキーワードは『広告の変わらぬ力で、広告を超えていけ』(クリエイティビティで新領域へ)」

6月号「広告業界が就職先として選ばれるには-学生インサイトを洞察-」

7月号「2023年度定時総会報告」

8月号「アフターコロナ時代のインバウンドマーケティング」

9月号「カンヌライオンズ2023レポート」

10月号「中国、巨大広告市場の現在地」

11月号「経営層と未来価値のつくり方

広告人の可能性と『クリエイティブ・リード』という新アプローチ」

12月号「α（アルファ）世代が企業のマーケティングに与える影響

－ 3世代調査から見てきたマーケティングの未来－」

2024年

1月号「新春のひと・こと」「広告会社の年賀状」

2月号「脱炭素化の中で広告業界はどう生き残るか？」

3月号「いま、テレビと音声メディアで生まれている新接触・新価値」

5. 会報誌 定量調査実施報告

会報誌のWEB移行の検討材料や編集の参考とすべく、会員社を対象として以下の調査を実施した。

<実施概要>

実施期間 2023年 3月 1日(水)～ 4月28日(金)

送付社数 154社

回答数 53名

回答者年代・セクション

30代：7名 40代：10名 50代：26名 60代：10名

管理：25名 営業：8名 メディア：5名 クリエイティブ：5名 マーケティング：4名

その他：5名

<回答概要>

- ・読みたいと思うテーマについて、いずれの世代・部署においてもマーケティング、クリエイティブ系のテーマに興味があり、年代が高くなるにつれ、SDGs/ESG・海外広告事情、法律知識、若手の主張などのテーマに興味があるという結果となった。
- ・会報誌に対する要望として、「固い記事が多いため、少しオフタイム的な情報やコラムなどがあると面白い」「一部と言わず、すべての記事をWeb化していただけると助かります」などの声があった。

6. 会報誌 定性調査実施報告

3、4月に実施した定量調査にて回答数の少なかった20-30代の声を今後のWeb会報の進捗、特集・シリーズ企画の参考として取り入れるため、定性調査の実施を以下の通り企画し、承認された。

<実施概要>

調査実施期間 2023年10月17日(火)～2023年11月 8日(水)

調査対象者 Fresh Eye執筆者等（2022年4月号～2023年10月号の執筆者中心）5名

調査形式 個人/グループインタビュー

※調査対象者のスケジュールに応じ、上記いずれかの形式で対応

<回答概要>

- ・会報誌の認知度については、執筆をする前から知っていた（見ていた）ケースもあったものの、

ほとんど執筆するまで知らなかったという回答だった。

- ・回答の傾向として、自分の業務に関連する情報をピックアップしながら見ていくケースが多い。
- ・同世代の考えを知るいい機会だとして、執筆を契機にFresh Eyeを読み続けている執筆者もいる。
- ・全員がネットやニュースアプリ、SNSなどのデジタル媒体から情報収集をしていると回答し、紙媒体への接触頻度は低かった。
- ・年代に応じて媒体の使い分けを業務上行っているという回答もあった。

・DE&I委員会（委員長：口羽敦子）

4月13日、9月6日、12月22日、2月26日

1. 委員の交替

松岡 弘樹（ADKホールディングス）⇒ 山口 朋子（同社）

北風 祐子（電通グループ/dentsu Japan）⇒ 口羽 敦子（同社）

2. 委員長の交替

口羽 敦子（電通グループ/dentsu Japan）

3. 「DE&Iに関するアンケート調査」結果をまとめた冊子発行

下記概要の通り冊子を発行し、会員社・関係団体に配布を行った。また、冊子の内容・有識者のロングインタビューver.をJAAAサイト内にて公開した。

<冊子概要>

タイトル『「DE&Iに関するアンケート調査」から紐解く広告会社の現状と今後』

発行日 2023年4月19日（水）

構成

- ・はじめに
- ・グローバル、国内、周辺業界（新聞・放送・出版）と広告会社（数値比較）
- ・有識者インタビュー
キャシー松井（MPower Partners Fund L.P.）
入山 章栄（早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール）
松田 崇弥（ヘラルボニー）
- ・アンケート結果
- ・会員社からのコメント
- ・委員会からのメッセージ

4. 「特別講演会」の開催

第333回理事会終了後、以下の通り北風前委員長による「特別講演会」を開催した。

日時 2023年4月21日（金）14時45分～15時45分

会場 東京會館・7階 SAKURA

対象 当協会会員の会員代表者及び各委員会委員長、副委員長

参加者 52名

5. 日本新聞博物館企画展「多様性 メディアが変えたもの、メディアを変えたもの」

日本新聞博物館からの依頼を受け、上記企画展に北風委員長（当時）協力のもと、コメントパネルを掲出した。

会 期 2023年 4月22日（土）～ 8月20日（日）

会 場 ニュースパーク（横浜市）2階企画展示室

6. 「広告×LGBTQ+の未来を考える」勉強会の実施

性の多様性を考える「Pride月間」である6月に、半澤委員と中川紗佑里氏（電通）がコーディネーターとなり、上記テーマでの勉強会・トークセッション・ワークショップを計4回実施した。各回のレポートをJAAAウェブサイトにて公開した。

①勉強会（1回目）

日 時 2023年 6月 6日（火）15時～16時

形 式 オンライン（Zoom）

テーマ「メディアにおけるLGBTQ+表象の問題点・課題」

講 師 松岡 宗嗣（f a i r）

ファシリテーター：松岡 弘樹（ADKホールディングス）

申込者 251名

②勉強会（2回目）

日 時 2023年 6月14日（水）13時～14時

形 式 オンライン（Zoom）

テーマ「メディア企業におけるLGBTQ+インクルージョンの先進的取り組み」

講 師 竹田 珠恵（Netflix）

ファシリテーター 狗飼 豊（博報堂）

申込者 290名

③トークセッション

日 時 2023年 6月22日（木）13時～14時

形 式 オンライン（Zoom）

テーマ「LGBTQ+を描くメディアコンテンツの先進的な取り組み」

スピーカー ミヤタ 廉（LGBTQ+インクルーシブ・ディレクター）

若林 佑真（俳優・舞台プロデューサー）

ファシリテーター 細谷 由美子（大広）

申込者 154名

④ワークショップ

日 時 2023年6月27日（火）13時30分～15時

会 場 電通

テーマ「広告会社各社の取り組み共有・意見交換ワークショップ」

ファシリテーター DE&I委員会委員、委員による推薦者（4グループにて実施）

参加者 28名

7. Advertising Week Asia 2023 JAAAセッションの実施

2023年 6月 6日(火)～ 8日(木)に東京ミッドタウンにて開催された「Advertising Week Asia 2023」にて、委員会主催で以下のセッションを実施した。

日 時 2023年 6月 7日 (水) 17時15分～17時45分

会 場 東京ミッドタウン、Great Mindsステージ

スピーカー 入山 章栄 (早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール)

北風 祐子 (電通グループ/dentsu Japan *前委員長)

ファシリテーター：中島 静佳 (博報堂D Yホールディングス)

8. 『REPORT JARO』への寄稿

日本広告審査機構 (JARO) より依頼を受け、以下の通り記事を寄稿した。

タイトル 今月のTOPICS「DE&Iに関する活動と今後の展望」

記事概要 DE&I委員会の発足から1年の活動内容とアンケートから得られたもの、そして、多様性を強みとした広告業界づくりを推進するため「DE&Iの理解と実践」「社会変革への貢献」を掲げた2年目以降の活動の展望について。

掲載号 2023年 8月号 (8月10日発行)、1 ページ掲載

9. The Global DEI Census 2023について

JAAAが日本事務局となって対応にあたったThe Global DEI Census 2023について、アンケートの国別レポート(*)をEuropean Association of Communications Agencies (EACA) から受領した。JAAAにて翻訳・内容確認作業を進め、9月に会員社、関係団体に配布した。

*国別レポートは回答数が300を超えた国と地域のみ作成される

<調査概要>

- ・調査名 The Global DEI Census 2023
- ・調査期間 2023年 3月15日 (水) ～4月15日 (土)
- ・調査方法 インターネット調査
- ・調査対象 広告主、媒体社、制作会社、広告会社等、業界関係者
- ・調査地域 日本を含む33の国・地域
- ・回答目安時間 15分程度 (言語は日本語/英語が選択可能)
- ・国内回答数 534

10. アドテック東京JAAAセッションの実施

2023年10月19日 (木)、20日 (金) に開催された「アドテック東京」に委員会主催で以下の通りセッションを実施した。

日 時 2023年10月20日 (金) 14時～14時40分

会 場 東京ミッドタウン (六本木)

テーマ「テクノロジーとバイアス～私たちのビジネスと密接な問題～」

スピーカー 鈴木 富貴 (チェンジウェーブ)

矢野 和男（日立製作所／ハピネスプラネット）

ファシリテーター 山口 朋子（ADKホールディングス）

1.1. 『新聞研究』への寄稿

日本新聞協会より依頼を受け、以下の通り記事を寄稿した。

タイトル 広告業界のDE&Iの現状と課題—多様性はイノベーションの源泉

執筆者 半澤 絵里奈（電通グループ／dentsu Japan）

掲載号 2023年11月号（11月6日発売）

1.2. DE&I関連のコミュニケーション数のカウント調査

メモリアルデーのキャンペーン広告数やコミュニケーション数を把握し、広告主や生活者のマーケティングニーズやアクションの必要性を確認するため、以下の通り調査を行った。

<対象コミュニケーション>

- ・ 3月 8日 国際女性デー
- ・ 10月11日 国際ガールズ・デー
- ・ 11月19日 国際男性デー
- ・ 12月 4日～10日 人権週間／及び10日 世界人権デー

<調査対象媒体及び調査期間>

新聞 当日含め前2ヵ月・後ろ1ヵ月、トータル3ヵ月間の出稿

SNS（X [旧Twitter]）当日含め前5ヵ月・後ろ1ヵ月、トータル6ヵ月間の発信

* 国際女性デーのみ 調査期間は2023年3月1日～3月31日の1ヵ月の出稿と発信

<調査結果>

国際女性デー

新聞広告：87社の出稿を確認（新聞社の特集に協賛した企業の広告出稿多数）

SNS（X [旧Twitter]）：当日に約140,000件の関連ツイートを確認

国際ガールズ・デー

新聞広告：出稿無し

SNS（X [旧Twitter]）：当日に約9,000件の関連ツイートを確認

国際男性デー

新聞広告：1社の出稿を確認

SNS（X [旧Twitter]）：当日に約15,000件の関連ツイートを確認

人権週間及び世界人権デー

新聞広告：27団体の出稿を確認（人権擁護委員連合会（法務省）と各自治体が出稿）

SNS（X [旧Twitter]）：12月 4日～10日の期間にて19,000件の関連ツイートを確認

<調査会社>

日本デイリー通信社

4. 事務局運営報告

(1) 入会

- ・ 2023年 4月 1日付
株式会社 日経エージェンシー
- ・ 2023年 8月 1日付
株式会社 M&C Saatchi
株式会社 SIGNING

(2) 会員社社名変更

- ・ 2023年10月 1日付
株式会社 国連社 ⇒ 株式会社 エイチ・アイ・エス デザイン アンド プラス

(3) 退会

- ・ 2023年 4月30日付
株式会社 千代田広告社
- ・ 2023年 9月30日付
株式会社 読売連合広告社
- ・ 2024年 3月31日付
株式会社 協和企画
株式会社 Hakuhodo DY Matrix
株式会社 山形アドビューロ

(4) 特別講演会

当協会会員の会員代表者及び各委員会委員長、副委員長に向けて特別講演会を開催した。

日 時 2023年 4月21日（金）14時45分～15時45分

場 所 東京會館・7階 SAKURA

講 師 北風 祐子（電通グループ／DE&I委員会委員長）

テーマ 「DE&Iに関するアンケート調査」レポート、電通グループのDEI推進の取り組み共有

参加者 52名

(5) 2023年度会員代表者懇談会

当協会会員の会員代表者間の懇談会を下記のテーマによる講演と着席buffetで開催した。

日 時 2023年12月11日（月）17時～19時30分

会 場 帝国ホテル 本館中二階・光の間

講 演 ◆「主体性という羅針盤を掲げて進む～幸せな広告人でいつづけるために～」

福永 琢磨（第52回懸賞論文 金賞入賞者／電通）

◆「嘘と愛」

栗田 雅俊（2022年クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者／電通）

参加者 63名

(6) 2023年度 JAAA協会担当者懇談会

当協会会員社の協会担当者間の懇談会を初の試みとして実施、会員相互のコミュニケーションや情報交換を行った。

日 時 2023年11月 1日（水）18時～20時

会 場 帝国ホテル 本館4階・桜の間

参加者 31名

(7) 全国広告業団体連絡会議

- ・令和4年度後期情報連絡会を4月28日に電通銀座ビル8階会議室にて、13時より加盟22団体の内18団体が参加して開催。各団体现況報告を中心に情報交換を行った。
- ・令和5年度前期情報連絡会を10月6日に電通銀座ビル8階会議室にて、13時より加盟22団体の内20団体が参加して開催。各団体现況報告を中心に情報交換を行った。
17時30分より帝国ホテルにて令和5年度理事会、総会を開催し、第1号議案「令和4年度事業報告並びに収支決算報告承認の件」、第2号議案「令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件」、第3号議案「役員交替承認の件」のすべてが承認された。

(8) 広告料金表2023年版の発行

- ・「新聞広告料金表2023年版」

発行日 2023年7月1日

版 形 B6判横 272頁

印刷部数 1,600部

頒布価格 会員1,320円（税込） 一般2,640円（税込）

- ・「放送広告料金表2023年版」

発行日 2023年10月1日

版 形 A5判横 175頁

印刷部数 1,150部

頒布価格 会員1,320円（税込） 一般2,640円（税込）

(9) 令和6年広告界合同年賀会

令和6年の広告界合同年賀会を次の通り実施した。

日 時 2024年 1月 5日（金）15時30分～17時

会 場 帝国ホテル 本館2階・孔雀の間

(10) セーフティネット保証5号

経済産業省は、業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者を対象とするセーフティネット保証5号について、「広告業」が下記のとおり指定された。

- ・指定業種通番468 日本標準産業分類細分類番号7311

指定期間 令和5年10月1日～12月31日

・指定業種通番471 日本標準産業分類細分類番号7311

指定期間 令和6年1月1日～3月31日

(11) 共通コード管理センター（CCC） 端末からの情報漏洩事案について

6月20日に共通コード管理センター（CCC）にてサポート詐欺による情報漏洩（広告事業者コード申請書のPDFデータ等）の可能性があったことについて、外部機関による調査と弁護士への相談を行った。外部機関による調査ではデータの外部への流出の可能性は低いとの結果であった。弁護士からはファイルに格納された広告事業者コード申請書のPDFは、個人情報ではあるものの、個人情報データベースには当たらないという見解を得た。この見解をもとに個人情報保護委員会と対応、8月29日に個人情報保護委員会より「非該当事案」の判断となったとの連絡を受けた。なお、CCCでは再発防止の対策を徹底する。

(12) 労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針について

2024年1月29日（月）、第337回理事会開始前に、経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課より3名の担当者が来協し、標記の概要を説明、広告会社が発注者として、また受注者として採るべき行動と求められるべき行動についての要請があった。

(13) 戸田副理事長 経済産業省「伝統的工芸品月間推進会議」委員就任

経済産業省が推進している「伝統的工芸品月間推進会議」より参加依頼があり、令和5年7月17日～令和6年7月16日を委嘱期間として、戸田副理事長が参加することとなった。

(14) 事務局職員の採用

2023年4月1日付

稲葉 寛昭

(15) 事務局職員の退職

2023年6月30日付

角田佳那子

(16) 事務局長の交替、副事務局長の設置

2023年6月1日付

小田 崇介（事務局長）

木村 敏文（副事務局長）

(17) 会員社訪問

2022年度に引き続きオンラインによる会員社訪問を実施し、累計で55社となった。

2023年度 贈賞・表彰報告

第53回懸賞論文 入賞・入選者

「論文」課題： 広告の新しい姿

- 金賞 宮井 弘之** 『生活者は広告人となり、社会そのものがメディアとなる
～シンギュラリティ時代に広告が欠かせない産業になるために～』
博報堂 ミライの事業室 JV Studio 局 局長
- 銅賞 小糸 和夫** 『会話をはじめた広告に期待される Club 市場の生成』
電通 コーポレートオフィス ビジネス・コンサルタント
- 銅賞 福永 琢磨** 『熱が「直」に伝わる距離へ。 ～気持ちの力で時代を動かす、広告熱力学～』
電通 ビジネストランスフォーメーション・クリエイティブ・センター
エクスペリエンス・デザイン部
電通 Team SDGs SDGs コンサルタント ソーシャル・デザイン・エンジン メンバー

「私の言いたいこと」一般部門

第1テーマ 広告ビジネス

- 入選 山本 健太** 『Open CX ～持続可能な社会と企業変革をリードする新たな体験 OS～』
博報堂 クリエイティブ局 中川チーム
イノベーションプランナー/クリエイティブストラテジスト
- 入選 吉永 諒子** 『課題解決支援から、未来を描く支援へ
ーコーチングの視点をヒントに、“自分の正解”と可能性を引き出す手伝いを』
朝日広告社 IMC プロデュース本部 プロデュース局
コンテンツプロデュース部 プランナー/コピーライター

第2テーマ 広告プランニング

- 入選 大山 英輝** 『SNS と広告をつなぐカルチャーハンターとそのネットワーク』
ADK マーケティング・ソリューションズ 第3 ビジネス・プロデュース本部
第3 ビジネス・プロデュース局 第3 グループ シニア・ビジネスプロデューサー
- 入選 中島 慶人** 『広告会社の活躍の幅を広げる、新たなコンテンツビジネスの可能性』
博報堂 ミライデザイン事業ユニット ソーシャルイノベーション局
ビジネスデザインディレクター
- 入選 向井 俊介** 『生活者 2.0 ～社会課題解決は、みんなでやろう～』
日本経済広告社 CPD 局 2部 プランナー

「私の言いたいこと」新人部門 テーマ：自由

- 入選 曽我 大晴** 『プランナーとネガティブ・ケイパビリティ～考える仕事に必要な「わからない」状態に耐える力～』
博報堂 ストラテジックプランニング局 藤井チーム ストラテジックプランナー
- 入選 稲葉 巧** 『広告活動は倫理とどう向き合うか～2つの広告態度から読み解く～』
博報堂 クリエイティブ局 藤平チーム PR プランナー
- 入選 大島ももあ** 『私たちは今、bad girl たちになにを語りかけるべきか。』
読売広告社 マーケットデザインユニット 統合クリエイティブセンター
関西統合クリエイティブルーム

2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者

2023 CREATOR OF THE YEAR

高崎 卓馬 dentsu Japan/電通コーポレートワン
グロースオフィサー/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- THE TOKYO TOILET ART PROJECT
映画「PERFECT DAYS」
- JR グループ/鉄道開業 150 年キャンペーン
- サントリー/オールフリー
- P&G /ボールド ほか

2023 CREATOR OF THE YEAR MEDALIST

永井 貴浩 博報堂ケトル/博報堂 アートディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 静岡市プラモデル化計画
- Earth hacks デカボスコア ほか

片岡 良子 ADK マーケティング・ソリューションズ/CHERRY コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- 明治 エッセル スーパーカップ「ふつうの日、スーパー最高では？」
- 映画『しん次元！ クレヨンしんちゃん THE MOVIE 超能力大決戦』「キミは、いたほうがいいよ。」新聞広告 ほか

小布施典孝 dentsu Japan/電通コーポレートワン

グロースオフィサー フューチャー・クリエイティブ・センター長 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 北海道ボールパークプロジェクト
- Well-being Initiative ほか

原口 亮太 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 日本マクドナルド ano「スマイルあげない」
「オードリーのオールナイトマック」ほか

村田 俊平 電通 第3CR プランニング局 クリエイティブ・ディレクター/CMプランナー

【主なクリエイティブワーク】

- 丸紅 企業広告「できないことは、みんなでやろう。」
- EM システムズ TVCM「エンドロール」篇 ほか

有元沙矢香 電通 zero クリエイティブ・ディレクター/コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- 朝日放送テレビ「M-1 グランプリ 2023」「熱闘甲子園」
- 台湾観光庁・台湾観光協会「ビビビビ！台湾」ほか

小島 翔太 博報堂 CREATIVE TABLE 最高 生活者エクスペリエンスクリエイティブ局 クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 大塚製薬 カロリーメイト WEB ムービー 部活生応援シリーズ
- 大塚製薬 マッチ おつかれさまマッチタイムリブ・キャンペーン ほか

松尾 昇 九州博報堂 クリエイティブ局 コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- 鹿屋市「土用のうしの日問題」
- アビスパ福岡「アビスパ史上、今が一番おもしろい。」ほか

大石 将平 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab クリエイティブディレクター/コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- MIXI「#俺たちのモンスター」
- 日産自動車「Electrify the World」ほか

森井 聖浩 東急エージェンシー 関西支社 ソリューション部 クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- AC ジャパン 全国キャンペーンA「寛容ラップ」
- JR 西日本「ノルタビ/Ado」ほか

高橋 尚睦 読売広告社 クリエイティブディレクター/コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- 明電舎「電気よ、動詞になれ。」ピクセルアート篇
- 代々木ゼミナール「秘めたまま、終わるな。」MV フル ほか

第 11 回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」(JAAA 若手大賞)

大賞

※施策主体の都合により辞退

優秀賞

■匿名宝飾店

コミュニケーションの主体：株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

推薦者：小林 侑 (アクセンチュア)、加藤 里奈・川合 和真・笹木 慈恵・福島 花梨 (三晃社)、
松井 志央 (ジェイアール東日本企画)、西垣内 園佳 (第一通信社)、
菊地 雄己・八幡 陸登 (メトロアドエージェンシー)、
小澤 凱・野村 佳乃子・山口 愛咲美・吉永 彩 (読売広告社)

■全国キャンペーン「聞こえてきた声」

コミュニケーションの主体：公益社団法人 AC ジャパン

推薦者：右田 時大 (読売広告社)

■守るのは、頭と地球。HOTAMET

コミュニケーションの主体：甲子化学工業株式会社

推薦者：笹木 慈恵 (三晃社)、柴田 笙子 (大広)

■広告規制により、サンマを持たされています。

コミュニケーションの主体：株式会社講談社

推薦者：安藤 文・山本 まりん (三晃社)、難波江 侑矢 (読売広告社)

特別賞

■オタ恋

コミュニケーションの主体：エイチエムシステムズ株式会社

推薦者：関口 純平 (朝日広告社)、右田 時大・吉永 彩 (読売広告社)

ファイナリスト

■「無言の父たち」

コミュニケーションの主体：サントリーホールディングス株式会社

推薦者：永田 芽衣 (I&S BBDO)、道下 凜音・高野 未南美 (ジェイアール東日本企画)

■じぶんの字がキライな人のための文具店

コミュニケーションの主体：株式会社パイロットコーポレーション

推薦者：廣田 岳茂 (ジェイアール東日本企画)

■ランダムマック

コミュニケーションの主体：日本マクドナルド株式会社

推薦者：永井 遥 (読売広告社)

■ # シズル文学

コミュニケーションの主体：日本マクドナルド株式会社 / 株式会社電通

推薦者：高野 未南美・高橋 花那子 (ジェイアール東日本企画)、松澤 智弘 (読売広告社)

■友達がやってるカフェ / バー

コミュニケーションの主体：株式会社 kakeru

推薦者：和田 尚 (三晃社)、高橋 花那子・早川 礼菜・道下 凜音・渡邊 隼也 (ジェイアール東日本企画)、
森山 奈月 (東急エージェンシー)、天野 豪紀 (日本経済社)、難波江 侑矢・松澤 智弘 (読売広告社)

■「ProPILOT MOP」

(FIVB パリ五輪予選 / W 杯バレー 2023 女子大会)

コミュニケーションの主体：日産自動車株式会社

推薦者：廣川 実生 (三晃社)

■ボラギノールスムーズ便秘薬「広告スツキリ車両」

コミュニケーションの主体：天藤製薬株式会社

推薦者：高野 未南美 (ジェイアール東日本企画)、右田 時大 (読売広告社)

※ファイナリストは最終審査に残った施策を指します

※推薦者の所属は応募時点

CSR 委員会 「SDGs ポスター」 入賞作品

最優秀賞

荒木 竜郎、佐藤 寛子、向井 俊介、高田倫太郎（日本経済広告社）

○後半戦、はじまる。

優秀賞

丸原 孝紀、扇 玲香、対馬自由莉（東急エージェンシー）

○いつもの仕事に、SDGs をブレンドしよう。

丸原 孝紀、山本江美奈、古林 萌実（東急エージェンシー）

○100年後も、ありがとうって言われる広告を。

荒木 竜郎、佐藤 寛子、向井 俊介、高田倫太郎（日本経済広告社）

○できたことにも、目を向けよう。

青山 紀恵、中村 嘉敬（フロンテッジ）

○オリエンに中年の男性と女性がやってきた。どうして男性を、上司だと思ったのだろう。

第59回吉田秀雄記念賞 受賞者

個人賞

大塚 尚司（株式会社 オリコム 取締役会長）

〔略 歴〕

| | |
|---------|---------------------------------|
| 1982年3月 | 立教大学経済学部卒業 |
| 1982年4月 | 株式会社オリコム入社（1993年商号を株式会社オリコムと変更） |
| 2003年4月 | 同社 メディア本部 ラジオテレビ局 局長 |
| 2007年4月 | 同社 役員待遇 営業副本部長 第二営業局長 |
| 2008年6月 | 同社 取締役 営業副本部長 第一営業局長 |
| 2009年4月 | 同社 取締役 営業本部長 |
| 2012年4月 | 同社 常務取締役 営業本部長 |
| 2015年4月 | 同社 代表取締役社長 |
| 2023年4月 | 同社 取締役会長 |

〔協会役職〕

| | |
|----------|-------------------|
| 2015年6月～ | 当協会理事 |
| 2015年6月～ | 入会資格審査委員会委員 |
| 2021年6月～ | 入会資格審査委員会委員長 |
| 2021年4月～ | 役員選挙管理委員会委員 現在に至る |

〔贈賞理由〕

2015年協会理事に就任。以来、多岐にわたる協会事業・運営に精力的にご協力いただき、広告業界の発展・向上に貢献されるとともに、協会自体の活性化・発展にも大きくご尽力された。理事就任と同時に入会資格審査委員会委員として、多様化・拡張する広告業界における新規会員社の発掘・開拓にも注力いただいた。2021年からは同委員会の委員長として入会申請のあった広告会社に対して入会に資する的確な判断をされている。また役員選挙管理委員会委員として協会運営にさらにご尽力いただいている。

グループ賞

該当なし